京城日報

四日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢　三ヶ月金壹圓四拾錢　六ヶ月金貳圓七拾錢
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄一行金壹圓　▲三號活字の一行は五號活字同様の事
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯部二四番　營業部二三番　振替貯金口座京城二〇〇番

○陸外交總長案否決

陸徵祥外交總長任命同意案は三日衆議會に於て九票の差にて否決となれり（北京電報）

○羅軍の勃國侵入　ドブルヂヤの敵軍危し

羅軍はアスチユックの近傍より勃國に侵入したり右の結果ドブルヂヤに於る獨勃軍は退却の已む無きに至る可しと（紐育電報）

○獨の羅軍侵入是認

獨逸公報は羅軍がブカレスト南方に於てダニューブ河を越ね初めて勃牙利國内に入りたる事を發表せり（紐育電報）

○露軍レンベルグ進撃

露軍は墺軍の頑強なる抵抗を撃退しつゝレンベルグに向つて進撃中なり（紐育電報）

○ソンム線大戰近し　目醒しき大襲撃準備の活動

ソンム前線に於ける天候は稍良好となりたるも最近の降雨の爲め地面未だ固らず從つて未だ何等激烈なる歩兵戰を見ざれども一般に行はれたる戰鬪は悉く聯合軍側に取りて有利なる結果を齎し聯合軍は前線一帶に亙りて到る所に敵軍を制御しつゝあり聯合軍は新前線に於て此頃獲得せる陣地を益々改善し鞏固と爲せり此所彼所に於て行はれたる戰鬪に於て獨軍の逆襲の極めて振はざるは豫備兵の欠乏に基く事を示すものなり各方面に於て銃砲戰進行中なるが英佛砲兵戰は歩兵大襲撃の準備として目醒しき活動を爲しつゝあり（巴里電報）

○倫敦襲來獨飛船撃退

獨逸ツエツペリン飛行船は一日以來數回に亙り倫敦市附近に襲來せるも悉く英國飛行隊の爲に撃退せられたり（倫敦電報）

○中支派遣更代兵

熊本第六師團管下より派遣せる駐支派遣隊滿期更代兵將校二十名下士卒六百名三日夜門司へ歸著し四日熊本鹿兒島都城等各所屬部隊へ歸れり（門司特電）

○政變と株式界

今回の政變は別に株式界に影響を及ぼさず市場は依然として好景氣を持續しつゝあり（東京電報）

○釜山に於ける元帥

元帥川村大將は四日午前九時連絡船高麗丸にて著釜せるが船體棧橋に繫留せらるゝや若松府尹、橋本警察署長、野津憲兵分隊長、岡村鐵道局參事補、桂釜山驛長、大池忠助、香椎源太郎氏等は直に船内に出迎へ其外官民多數の出迎を受け棧橋に降り釜山守備隊長王丸大尉の指揮の許に棧橋に堵列せる儀仗兵に擧手の禮をなし停車場ホテルに入り休憩の上釜山商業會議所會頭大池忠助氏の同會議所樓上に於ける茶菓の饗應を受け午前十時半發にて京城に向へり（釜山特電）

○總督官邸の招宴

山縣政務總監は昨報の如く四日午後零時三十分より入京中の駐日米國大使ガスリー氏夫妻外一行在京米國總領事及び副領事夫妻、小松韓長持地局長以下を總督官邸に招待午餐會を開けり

○政務總監訪問

山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ四日午前八時十五分官邸出門馬車を驅つて朝鮮ホテルに入京中の駐日米國大使ガスリー氏を訪問少時會談の上辭去直ちに登廳せり

○米國大使動靜

入京中の米國大使ガスリー氏は四日午前八時三十分山縣政務總監の訪問を受け九時より菱田通譯官等案内の下に自動車に搭乘市中觀光午後零時三十分より別項の如く總督官邸の午餐會に臨み午後二時より四時まで京城女子高等普通學校並に昌德宮秘苑を參觀四時より六時半迄總領事館に於て在京米國人を接見會議八時半より總領事主催の晩餐會に臨席せり尚ほ大使は五日朝發鮮滿直通列車にて北行すべし

○米領事晩餐會

京城駐在米國總領事ミラー氏は米國大使ガスリー氏夫妻一行を四日午後八時半より總領事館に招待晩餐會を開催せしが谷國務事同夫人小松外事課長菱田通譯官の諸氏も陪賓として列席せり

○川村元帥入京

元帥子爵川村景明氏は猪鹿倉副官を隨へ滿洲に向ふ途中既報の如く四日午後七時五十分著列車にて入京す

○高橋武官出迎

總督附武官高橋砲兵大佐は四日午後四時三十分發列車にて水原に到り川村元帥を迎へ隨從して歸任せり

○元帥巡視東道

川村元帥の元山平壤新義州地方視察に際しては高橋武官東道の筈なりしも都合により中止し軍司令部副官其任に當る由

○滿洲に於ける元帥

川村元帥在鮮中の日程は既報の如きが滿洲に於ける元帥の旅程を聞くに十一日午後八時十分安東縣發十二日午後零時五十分奉天着下車十三日より十七日迄は第十七師團及び獨立守備隊の秋季機動演習參觀十八日長春滯在十九日長春發二十日朝大連著滯在二十二日大連發便船にて二十四日午後門司著即時歸東する由

○西川少將出發

入京滯在中なりし參謀本部第四部長陸軍少將西川虎次郎氏は四日午前八時三十分南大門發列車にて出發東上の途に就きたるが停車場には古海總務總長野田副總裁隈部山形岡本高橋各大佐大橋少佐等の見送りありたり

農産物の激增と貿易　内地市場に於ける朝鮮農産品及び同加工品の將來

▲農産輸移出激增　朝鮮に於ける農業は年々長足の進歩を爲し農産物改良、增殖及び之れが貿易の趨勢は實に目覺ましきものあり蓋し耕地の擴張、灌漑水利の供給二毛作の獎勵に依り作付反別增加し選種優良品種の普及耕作法の改良施肥獎勵等により收量增殖し又品種の改善調製の改良に依り其の聲價を昂めたるに基づくものにして農産品及び同加工品の累年輸移出額を比較すれば

明治四十四年	千二百七十一萬圓
大正元年	千五百八十一萬圓
大正二年	二千四百三十二萬圓
大正三年	二千六百九十一萬圓
大正四年	四千五十五萬圓

にして大正四年を以て明治四十四年に比するに其の三倍一分八厘に當り一箇年の平均增加率は二割三分に當れり

▲輸移入は遞減　農産品並に農産加工品の輸移入狀況を見るに大正二年迄は逐年增加の一方なりしも大正三年以降遞減の傾向を示せり之れ朝鮮に於ける農産物の增收に伴ひ從來輸移入に仰ぎたるものを漸次朝鮮産品を以て充當するに至りたるに因るものとす五年間の輸移入額は左の如し

明治四十四年	九百七十四萬圓
大正元年	千二百五十二萬圓
大正二年	千九百四十一萬圓
大正三年	千五百十七萬圓
大正四年	千三百二十五萬圓

前記により農産物の輸移出入の均衡を檢するに明治四十四年に在りて二百九十萬圓の出超なりしもの大正四年に於て二千七百卅萬圓の出超を示し二千四百餘圓の增加を來せるもの畢竟農業開發の效果に負ふ所なりと謂ふべし

▲農産物の將來　翻つて内地に於ける農産品並に同加工品の輸移出入狀況如何を見るに輸移出額は大正二年五億一千萬圓同三年四億五千萬圓同四年四億五千萬圓にして輸移入額は二年三億八千萬圓三年三億六千萬圓四年三億五千萬圓の巨額に達す而して之等農産品の品種を檢するに外國より輸入する物にして朝鮮に生産增加に依りて補充し得べしと認むるもの尠なからず又外國に輸出するものにして海外の需要に應ずる能はずして尚ほ其の需要旺盛なるものあるべく内地に於ける農産品の自後朝鮮の生産品を以て補ひ得べき貿易狀態は朝鮮農産品に對し密接なる關係を有するを見るべしと

○學校職員生徒送迎

宇佐美内務部長官は四日各關係方面に對し學校職員生徒の送迎方に付通牒する所ありしが其の要旨を聞くに學校長及び職員は生徒全列の右翼に指揮者は各組の右翼に位置し（受禮者列の左翼より通過する時は學校長職員及び指揮者は左翼に位置す）受禮者が列の前に差し蒐らんとする時は『氣を付け』『脱帽』の號令をかけて次で受禮者が指揮者の前に達したる時は『禮』の號令を以て一齊に敬禮せしめ直ちに元の姿勢に復し受禮者に注目其の通過を送迎せしむべしと云ふにありと

○寺内伯推薦

（四日午後二時四十五分發至急電報）

宮中に於ける元老會議の結果各元老の意見何れも寺内伯を推薦に決し其趣を闕下に伏奏せり

○製造煙草値上　十月五日より實行

東亞煙草會社朝鮮煙草會社以下三十餘名の朝鮮全道に於ける煙草製造業者は今回協定の結果各種製造煙草の小賣定價を値上改正の上本月五日より實行する事となれり

○朝郵重役會議　株主總會は二十六日

朝鮮郵船會社にては第五期決算案其他に關する重要の協議をなす爲め來る十二日同社樓上に重役會議を開く由なるが其の結果株主に總會召集の通知をなす事となるに付株主總會は二十六日に開會する事となるべし

○元山商議の訴願

昨報元山商業會議所會員岩武、島吉、岩尾、百造の兩氏をして過般政務總監に對し元山商議評議員再選の訴願を提出せしむるに至れる原因は去る七月を以て評議員の選擧を執行したる際同會議所の事務員徐永奎は南敬熙及び崔啓伯は其の長男金奇元を選して投票をなさしめたるを以て全く選擧法に違背せりといふにありされば選擧委員は直ちに村地府尹を府廳に訪ひ遂一失態の次第に就き正式に答申をなしたり村地府尹は之れを總督府に復申したる筈なれば近く何等かの指令に接するなるべし

○久原鑛業員一行

久原鑛業會社經營の甲山銅山へ赴任しつゝある三十餘名の同鑛山從事員は家族同伴八十名の團體をなし二日朝高麗丸にて渡鮮せしも檢疫の爲め一日停留され三日夜釜山發入京せしが五日元山を經て甲山に向ふべしと

○敍任及辭令

九月二十九日附定期敍勳發表の際朝鮮在勤者の敍勳中既報以外の分左の如し

酒井三郎太　竹村呂計　岡本正夫　大友歌次　草場林五郎

敍勳五等授瑞寶章（各通）
稲垣金則　相澤啓治　村上慶治　吉川國治　松崎長太郎　須子素直　佐藤元　清水常吉　齋藤小一郎　齋藤禮三　深川傳六郎　堀江幸市　末田新松
岡村政治　小原乙二郎　田口澄太郎　坂倉銀丸　井石又次郎　淵野一道　岡村孝　田頭剛義　林和一　安藤又三郎　川澤清太郎　伊香賀矢六　國分萬次郎

敍勳六等授瑞寶章（各通）
森塚昇三郎　山田德二　柳田留一　津藤直助　麻生喜三郎　石作次郎　松井智順　本郷友次郎　西脇榮助　荒川庄吉　加藤光生　上杉太郎　大和政之助　吉岡余治郎　河野確郎　服部常之助　吉住融
筱部鷹男　中村彦三郎　横田猪一郎　大塚彌藤　鵜飼岡治郎　横井三治　入江佐計佐　田島宗次郎　米田定治郎　平野清五郎　長尾永助　東井政設　角倉又三郎　吉田顯一　市川一松　植松正一

敍勳七等授瑞寶章（各通）
須貝藤　井川敬衞　田中榮　山下六郎　島村正平　小越良作　大舘三代太　伊藤清毅
村井文太郎　木村儀三郎　岡友道　中島乙吉　桝原信一　上野傳　野平興　根本守

敍勳八等授瑞寶章（各通）

○宇都宮視察團出發

豫て入京中なりし宇都宮商業會議所主催滿鮮實業視察團一行十七名は滿鮮各地の視察を終り四日朝八時半南大門發列車にて歸國の途に就きたり

咸興

▲新大豆の初荷　九月二十八日新大豆の先走りとして十叺の入荷ありて同商店は直ちに下關及び神戸に移出したるが相場は昨年の初荷に比し稍割高を示し石八圓二十錢にして品質は一般に佳良なるのみならず昨年に比し出廻期は十五日早かりしと▲電氣會社認可　發に認可申請中なりし咸興電氣會社設立の件は此程に至り愈々其筋より認可の指令に接したるを以て京城釜山東京等なる發起人も近く各々來咸集合の上協議會を催す筈なるが既に結氷期も近づける事とて本年内に於て同會社が工事に著手するは不可能事なるべし▲咸永間鐵道準備　咸鏡線延長工事たる咸興、永興間鐵道工事は既に比較線の實測を了し且つ豫算の大半も確定したるものゝ如く從つて遠からず敷地の買收に著手せらるゝ筈なるが來春に於ける工事の關係上定平郡に輸送さるべき鐵道材料運搬に就き目下某方面に契約交渉中なりと▲農作近況　咸興地方は其後何等の天災地變なく頗る平穩に經過し且つ農作物に對し鳥虫害の如きも特記すべきものあるを認めざるを以て附近は一帶に近來稀有の豐穰なるべく目下咸興平野は一面に粟、稗、麥等の刈入最中なるのみならず早稻の刈入に著手せるものさへあれば多分來月中旬頃までには全部の收穫を終るに至るべし▲土地調査測量　咸興郡咸興面に於ける土地調査局細部測量は去る二十八日より松本三伸、廣瀨斗鬼彦、田上重等の三技手各里を分擔して開始したり

大田

▲十週記念　大田公立尋常高等小學校にては創立十週年に相當するを以て來る八日午前八時半より埋立地新築校庭に於て記念式擧行と同時に祝賀運動會開催の筈▲協議會開會　大錦道路開築に關しては大田居住者より相當の寄附金をなす筈にて是れが醵出の件に付三四日頃協議會を開くべし▲産米改良指導　郡内産米改良指導の目的を以て八日より約一週間の豫定にて農事技術員及び産業傳習所教師出張指導すべし▲優良棉旗授與　陸地棉作獎勵の目的を以て從來品評會を開き賞品授與を爲し一助となし來たりしも本年は是れを行はずして優良棉を染拔きたる旗を優良面二十戸平均に一旒を授與する事と爲しそれぞれ發送せり▲自作品評會　大田農友會にては來る十一月初旬大田産業傳習所にて自作品評會を開催すべく五日評議員會を開く筈なり▲宇木獸醫正　駐剳軍獸醫部長宇木素絢氏は二日來田近々交換すべき當地機關銃馬匹内檢査の上三日零時三十分發急行にて大邱に向ひしが都合に據りては全北錦山を視察すべしと▲煙草成績　度支部專賣課大田出張所試作煙草成績は七月以降の連雨の爲め成績豫期の如くならず約二割を減じたり此成績に徴する時は一般當業者は適不適の鼓す所あらんも好成績を得たりと云ひ難かるべしと云へり▲秋期清潔法　近く演習の爲め兵士來田宿泊すべきを以て市内は來る十日より十三日迄三日間に秋期大清潔法を行ふ筈

公州

▲農事講習會　忠淸南道に於て大正五年度臨時恩賜金授産事業として管下各郡に短期農事講習會を本年十二月より明年三月迄の期間内に於て三回宛開催する事となれり而して一回を五日間とし人員約三十名を收容し主として普通農事畜産の二項目を講習し講師は各郡配屬の農業技手之に當り其の教科書として道に於て講義錄様のものを發行し一部宛講習員に配付し講習せしむる筈▲憲兵警察運動會　忠南警務部公州憲兵隊本部同派遣所同警察署に於ては一日始政六週年記念日を卜し山城公園双樹亭運動場に於て憲兵警察合同秋期運動會を開催し擊劍柔術角力提灯競爭寶探し其の他數番の催しありて一日の清遊を試みたるが一般休日の事とて非常の盛會なりき▲道長官出張　小原本道長官は管内巡視の爲め一日より天安禮山唐津方面へ出張せり

大邱

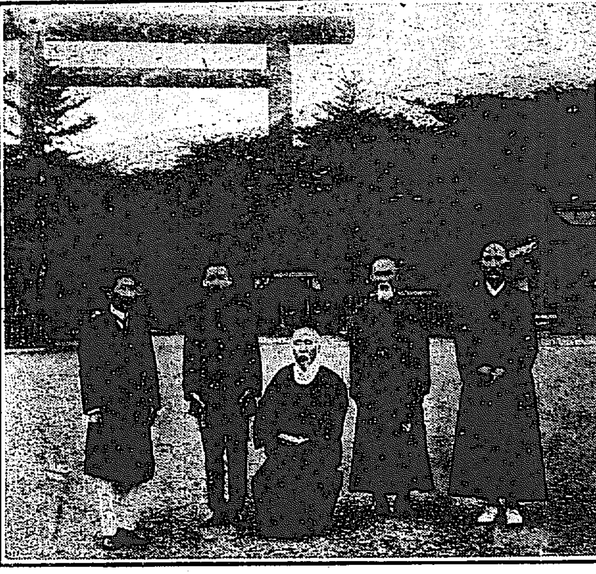
▲金泉大邱間自動車開通期　定天大洪水の爲め架橋流失自動車不通なりし所今回同箇所に船橋設置中なれば近日中に竣工し金泉間開通すべしと▲榎本隆氏出發　尙州學校組合管理者榎本氏は尙州を引上げ京城に移住すべく去三十日出發▲假收容所建設　大邱府廳にては府協議會を開き虎疫患者續發の爲め隔離病舍は狹隘を告げたるを以て現病舍に接續し二十五坪の假收容所を建設すべく豫算案を附議したり▲伊藤軍醫正來邱　警務總監部より大邱虎列拉病發生狀況視察の爲め伊藤軍醫正來邱し去二日視察し服部慶北警務部長小平山田大邱署長等と共に協議する處ありたり▲配水池工事　大邱上水道配水池工事及び歩兵第八十聯隊兵營工事は當地にコレラ病續々發生の爲め暫時休止する事となれり▲大隊本部臨時移轉　大邱市内に虎疫發生の爲め南門なる歩兵八十聯隊第三大隊本部を一日より府廳裏なる將校集會所に臨時移轉せり

宇治茶直接販賣
喫茶の好時季
御茶銘錄定價表（二百目ニ付）
◎玉露製　◎煎茶製　◎折物製
製造本店　山城宇治乙顯久世
特約販賣所　京都七條東洞院角
製茶問屋　井上六平

鑛石買入
近來朝鮮各地に於いて「モナサイド、サンド」採堀者有之由聞知右「モナサイド、サンド」買求度候に付右鑛石取扱者は御一報乞ふ
大阪市東區谷町五丁目廿四
本城商店
電話南五八八五番　振替大阪二六二四九番

品質の優秀は
醇酒
最後の勝利を獲得す
絕對の信用を博し
攝津灘新庄家　宮内省御用達
若林合名會社
特約店　京城本町三丁目　山本富之助商店　電話五七五番

▼鯨印、若水印、鈴印　ボイル油
▼カブト印　テレメン油
▼殺虫防腐　鈴印　クレオソート油
▼大宮リ印　諸機械油
▼全鐵　コールタール
▼大宮リ印　鈴印　牛脂・ヘツト
▼全精製　カストル油
▼コールタール　ピツチ
▼其他油脂塗料製造
合資會社　大阪　吉川製油所



靖國神社前の侍天教主（向て右より大宗院長元容駟氏、宗理院長金洛鳳氏、大教主、李秉沢氏、李敬鑰氏）

◎大隈首相 侍天教々主に 宗教政策を説く＝金演局翁内地視察土産

「……何故もつと世界的に布教せぬか……」

侍天教大教主金演局翁は宗理院長金洛鳳、大宗院長元容駟、水済李秉沢、事務局李敬鑰の四氏を伴ひ五十餘日内地、宗教を視察して歸鮮した其の談に曰く

文化の燦然たる内地を視察したいとは豫ての宿望であつたが何にせよ五十餘年間

■深山谿谷の間 か獄裡の一室の中にのみ辛酸を嘗め遂にその目的を達することは出來なかつたが此度宇佐美内務部長官の深厚な御盡力により特に李覺鍾君迄同伴されて希望を達することが出來たのは欣悦に堪へない下關に上陸すると已に身は別天地に在る心地であつたが桃山の先帝御陵と伊勢大神宮に參拜する前に觀光することは何分心に許さないところがあるので老齢にも係らず乘り物は電車だけを利用し餘は徒歩して先づ御陵に參拜したそれには侍天教の教則として一週間前より齋戒沐浴し身心を清めた上二十分ばかり祈禱したがこれには

■陵前に額づき 案内の警部巡査等も驚いてゐたそれから市中見物は後廻しにし直ちに伊勢大廟に詣で直ぐまた上京して大隈首相を訪問した其前日秘書官まで教理の概略を記したものを提出して置いたが聞けば老首相は其夜午前一時から午前二時半に至るまでその書類を閲讀されたといふことで先づ精力の偉大なるに驚倒させられた應接室に進むと首相は開口一番『君は背が高い。成程天に近い。所謂侍天教の教主として適當だ』と諧謔の一喝を與へてそれから立ち上つて『我輩の話は

■通譯は要らぬ 通譯はよく我輩の話を聞いて置いて歸つてからよく話してきかせたらよからう。君は我輩の態度だけ見て行かれたならよからう君は宗教を開いてから五十年にもなるのに何故まつと世界的に布教せぬか』と二時餘りに渉つて侍天教の宗教政策を授けられたが實にその熱誠には感激した次第である

▲寺内總督 虎疫の蔓延を憂慮す

それから寺内總督を訪問すると總督から精養軒に御招待を忝うし其際言はるゝには朝鮮も虎疫を極力防ぐやうに言つて置たにも係らず遂に侵されたが出來るだけ早く絶滅したいものである今年よりも寧ろ來年再發するのが危險であるとて憂慮に堪へられない樣子であつたが身は東京にあつても朝鮮のことを常に念頭に置かれるのはこれまた感激した次第である内地に行つて感じたのは朝早くから市民が起きて業務に勉勵な氣風と敬神の念の厚いことで我が宗旨と最もよく似てる天理教の如き六七百萬の信徒があると聞きました

□兩殿下に献上

海岡金圭鎭君の著作に係る蘭竹譜の發行されたることは曾て屢々報道したる處なるが今回李王同妃兩殿下に献上したるところ兩殿下に於かせられては大に讃辭を賜はり金百圓を下賜されたりと

◆泣く芝居は既早歡迎されない 輕い華やかなものが悦ばれる

帝京中の有樂座支配人新免彌繼氏談

歌舞伎座の田村、帝劇の山本、松竹の大谷の諸氏と共に日本の興行界にその人ありと知られた東京有樂座の支配人新免彌繼氏が今度呂昇の一行を連れて京城に來てゐる、三日の朝その旅宿なる巴城館に押かけて波瀾重疊的々たる暗流に

▼大渦小渦 の絶えた事の無い劇界の消息を訊めると有樂は斯界の老將、待つてましたとばかり語り出す、一體劇界といふものが平靜である事は殆んど稀であると言つてもいゝ位だが昨今は擾亂して來たやうですね、歌舞伎座と帝劇とが俳優の融通をし合ふといふ事はどうやら事實になりかけるやうだけれども、事の起りは例の猪瀨な歌右衛門が大倉男爵の所へお座敷拜見といふやうな事で出掛けた時に帝劇に色氣のあるやうな事を仄めかしたのが動機となつて山本君（帝劇專務）が現はれる段になり、それが世間に歌舞伎、帝劇の接近を取沙汰されるやうになつたのだが俳優の取換をするとすれば歌舞伎から歌右衛門、羽左衛門

▼帝劇から 梅幸、幸四郎といふやうな事になるでせうが、之れでは帝劇には纏かられ損だけれども歌舞伎座としては割が惡るい、その他の者にしたところが帝劇の連中は歌舞伎座にゐて頭が上らないので帝劇に走つた位だから歌舞伎座に取つては餘り有難くないわけでさ、然かし兩者が握手して俳優の交換をなするは觀客に取つては餘程の幸福であると言はねばならぬ、昨今新劇壇が餘り振はないけれども之れは日本人そのものが是等の劇に對する智識の程度が低いので致し方が無いのです、如何に新らしい脚本を上場して見ても肝腎の見物そのものに理解が無く或る特殊階級の人士を除く外は大抵昔からあり來りの陳腐な低級な所謂芝居的のもので無ければ受けないから自然劇場なり俳優なりが素趣に投ずるやうな物を出す事になる、新劇壇の或る一部に歡迎されながら遅々として發達しないのもこんな譯からなんです、島村君の

▼藝術座も 藝術の獨立を標榜して最初は理想を行なふ事に種々の犧牲を拂つてゐたが昨今に至つて次第に低級に傾いて來た事も一つの例證だらうと思ひます、今度松井須磨子の新傾向としては理屈ぽいものと悲劇的の深刻なもの陰慘なもの即ちドラマチツクのものよりも剌戟は強いが極めて明るく輕かな愉快な感興を受けるオペラの方を喜ぶやうです、何故斯ういふ風潮を現はしたかといふに從來の正劇に現はれたやうな主として人生の暗い方面を取材して扱つた悲劇的のものは日常一般に見聞し經驗しつゝある事であつて何も忙がしい時間を割いて劇場に出掛けて行つて然ういふものを見る必要は無いといふやうな見地から來てゐるのだらうと思ひます、然らば全然

▼ドラマは 顧みられないかといふに決して然ふでは無く、或る一部の人が寄つて會員組織の様な風で二日なり三日なりドラマを演じさうして觀るやうな事もあります、先達て有樂座で陸外博士の譯したショウの馬泥棒を出した時倫敦タイムスの記者が帝國ホテルに泊つてゐて一日觀に來ましたが大變氣に入つたと言つて二晩つゞけて觀に來て此の芝居は何日間續るのかといふので十四日間續けるのだと言つたら非常に驚いて英國では三日も演れば客は來ない、ショウも滿足するだらうから知らしてやると言つて居りました　新派が次第次第に衰へてゆくのは當然で元來非藝術的の運命として丁度浪花節が社會から忘れられてゆくのと同じ理屈だらうと思ふのです、唯彼等に復活の

▼曙光を望 み得らるゝものがあるとしたら、それは彼等が從來踏み來つた道から全く遠ざかり、凡ての習慣を忘れて新らしい脚本に就いて研究に研究し最も愼重なる態度で藝術の精神に觸れやうと心がけた時である今の新派俳優なるものが果して此の自覺があるかどうかは甚だ疑問である

◎西鮮の天地砲聲轟かん 沙里院平野にて 四日兩軍の編成

步兵第七十七聯隊の一部は三日午前五時半一部は午前六時半より步武整々營門を出發し途中野外教練を爲しつゝ旅團演習地たる沙里院方面に向ひ同日は黑橋附近に露營五日旅團演習統裁官市川少將より一般方略を授けらるる筈今回の旅團機動演習に參加すべき龍山の騎兵工兵及び倉敷の工兵第三中隊は已に演習地に向つて行軍中なるが機動演習に參加すべき兩軍は十月四日其集合地に於て編成せらるべく卽ち第一軍は步兵一箇聯隊に騎砲工の若干を附せられたるものにして兩軍は五日各集合地に於て休養し六日早朝より戰鬪動作を開始する筈なり而して右演習解散後七十七聯隊は十三日七十八聯隊は十七日各屯營に歸著し其他の特科隊は演習終了後夫れ〳〵衛戍地に歸還すべく倉敷工兵第三中隊は龍山より船舶及び鐵道に依り歸營すべしと（平壤）

◎看守へ賄賂

京畿道坡州郡條里面待谷里生れの李德有（三）は山林看守補を勸め居れる内本年舊七月六日山林巡視中坡州郡條里面登院里の金貸業姜熙然（三）が人夫を使役して官林盜伐をなし居れるを知り又條里面積谷里金壽台（五）の盜伐せるを默認し姜熙然より金一圓の賄賂を受けたる一件は京城地方法院にて德有は懲役六箇月、熙然、壽台の兩名は笞九十の處分となる

◎大賊の處刑

京城市中にて大賊を働きたる鹿兒島縣肝屬郡高隈村生れの樋渡卯之助（八）は懲役二年の處分となりたり

◎漫畫この頃

十一文三分の足袋を買つた男、縫り器も相な顔をして『こんな大きなのを他にも買ふ人がありますか？』

『ヘイこんな大いのをお召しになる方は滅多に御座いませんが、それでも年に六七足は賣れますよ、ヘイ』

『ヘー左樣ですかね、僕は毎時でも君許の店で買うんですよ』

『毎度有難う存じます、左樣しますと此御樣にお賣ひ致しますかも知れません』

◎狂女 愛子の屍を抱いて子守歌を誦す！ 虎列拉の産んだ悲劇のかずく

仁川に虎列拉病が猖獗を極めて既に三百數十人は冒され其の大半は斃されるゝの慘禍を見るに至つたが、此等數多い患家の中には聞くだに不愍に堪へない樣な

▽悲運に陷つて 居る者は尠くない、今でこそ府の貧民救助に依つて安心して糊口を凌いで居られるが、其開始前迄は杖とも柱とも賴んで居つた者に死なれた上に交通は遮斷され働くには働かれず一家數人相擁して飢に働いて居つた者が頗る多く、中には施米を受取つての歸り途で斃れた者もあり、飢渇に泣く兒童を見るに見兼ねて拾つた大根を生で嚙らせて遂ひに可愛い子供を二人迄虎列拉の爲めに殺して了つた者もあり、我子が擔荷に乘せられて行く姿を見て急に發狂し消毒中の警官や救助員の胸倉を取つて倅を活かして返せなど、叫喚する老媼もあつた、が就中悲劇中の悲劇とも謂ふ可きは花平里三百番地朴應達の留守宅であらう朴は數箇月前から妻の王鄭（三九）と六十五歳になる姑の金召史と

▽二人の子を遺 して楊平郡青雲面の權風洙方に傭はれて居つたが今度花平里には眞つ先に虎列拉が發生した爲め隨つて蔓延の度も烈しく忽ちにして數十名の患者を出し朴家も遂に妻の王鄭が斃れ次いで二人の幼兒も感染して敢果なくなつた後に遺つた金召史は悲嘆遣る方無く幾度か楊平郡の朴の元に歸宅する樣通知を發しても何の音沙汰も無きより極度に懊惱して遂ひに精神に異狀を來し昨日今日は娘と孫の遺骨を抱いては『ねんねんころりねんころり』と子守歌を歌ふかと思へば急に泣き叫ぶなど傍の

▽見る眼も不愍 さ餘るより三日仁川警察署より楊平憲兵分遣所に向けて朴應達の在否を照會し四五日迄には歸鄉する樣取計つたとの事であるが旅先にあつた朴は此の悲しい通知を受けた時はどんなであつたらう、此外三日朝眞正と決定して直ちに收容された花町一丁目七十一朴致俊（三〇）は八十歳になる老母と八つと一つになる二人の兒を抱へて細々と煙り立てゝ居たのであるが肝心の朴と老母とが一度に虎列剌に冒されて隔離され忽ち死亡した爲め後に殘つた稚けない嬰兒と小兒は食を索むるにも求められず養ふ人も無き儘、花平里の天道教會内臨時救護所に收容されし父よ祖母よと戀ひ慕つて居る相であるが人生の悲慘も此處に至つては窮まれりと謂ふべきであらう

▽△帳場格子の前にて 三

商賣いろ〳〵草紙 仲買になるまで

▽致富成功の捷徑——▽盲人の手を取る樣に——▽口錢專門の店 ▽噴火口の上で舞踏——▽仲買人の内幕——▽思惑次第で

世の人は定期を賭博か何かの樣に考へ我々仲買人を顧客の財嚢を絞る手管か、寺師かの樣に思つて居るらしいですが其れは

▽△非常の誤解 です、第一定期米なる者は僅かの證據金で多額の米の賣買が出來るし、又自由に轉賣して利益を取る事も出來入用なら期日に正米を引取る事も出來ますし、然かも藏敷料もいらず、品傷み、水害蟲害の憂も無く、金利もかゝらず、損減りも無い、至極便利な賣買方法で、致富成功の捷徑として、此位ひ興味のある者は他にないだらうと我々の側からは

▽△手前味噌か 知らぬが左樣思ひます、つまり仲買人は口錢に依つて賣買の手數を客に代つて取扱ふ者ですから謂はゞ文明の利器とも謂ひつ可き機關です、ハヽヽヽ、餘り手前味噌に過ぎましたが兎に角仲買人になると店に來る客に對して盲人の手を取る樣に教へてやるは勿論、氣勢に付いて自分の意見を述べて出來る丈け儲けさせたい遣りたいと言ふ樣な心から

▽△一騰一落毎 に心を痛めねばならぬので並大抵じやありません、殊に前にも言つた口錢專門の店になりますと買氣の勝つた顧客には『上ります』賣りに向つた顧客には『下ります』とうまく其處のバツを合せて御機嫌を損せぬ樣にせねばならず、又客の追證整理で思はぬ足を出したり相場の保合の時は委托米が尠い替り危險も尠いが、高下の

▽△激しい時は 口錢も多いが又た心配危險も多いので此の職業は宛然噴火口の上で舞踏して居る樣な者ですよ。未だ素人から玄人になる經路や仲買人の内幕に就いてお話したい事が澤山ありますが夫れは天機洩らす可らずと、として今日は此でお免蒙りませう。Hさんの話は興が乘つて來ると際どい處に觸れて行くが又いつか上つた方面に攫を戻すのであつた、其處へ

▽△鮮人相場師 が三四人入つて來るとHさんは、鮮人の投機心の強いのには驚く外ありません彼等は頗る大膽で思惑次第で乘せ米離れなんでも御座れで時々玄人の舌を捲かせる樣な事がありますよと言つた（完）

コレラ彙報

▲神仙臺と郵便電信 遞信局に於ては神仙臺檢疫所に於ける旅客の利便を計らんが爲め毎日一回釜山郵便局員を同所に派遣し郵便電信の引受と諸種の便宜を與へつゝありと

▲仁川警戒線縮少 仁川の虎疫は數日來より頓に終熄し自然警戒線も解除或は縮少したるより百四十一名の聯援隊中總監部より來援したる警官三十一名を目下猖獗を極めつゝある昌寧陝川等南鮮地に向け四日朝出發せしめたり

▲仁川に二名 仁川に於ける虎疫發生數は四日正午迄に二名發生したり

▲四十數名隔離 仁川警察署にては三日開催の防疫會議の結果菌保有者を隔離する事となり四日朝より四十數名を收容したり

▲阪東警視視察 總監部衛生課長阪東警視は三日午前新羅丸にて歸任の途釜山港神仙臺檢疫所に立寄り釜山橋本警視と共に檢疫所の増築、檢疫官の事務、檢疫醫の實檢等視察をなし三日午後十一時發にて京城へ歸任せり

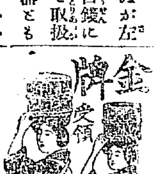
◎永樂町均陵庵主卜象 明五日乙亥 △晴陰猿雨兆あり ▲杏之充忘（▲午前○時より午後十二時迄）

◎工科學堂生見學 旅順工科學堂生徒……南滿沿道各都を經て去る三十日咸興……同校長元……去る一日は日……

◎高女豫防注射 南山町京城高等女學校にては七日第二回豫防注射……で先生や母さまに伴られながら大よろこびで遊んでました

天氣 ◯は 晴れ一時曇り ▲十月五日（四日午後六時迄）

■課題募集規程 ▲用紙は……又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲賞品は一……



髮を黑く長くつやを出させらく として髮のわけを防ぐ事

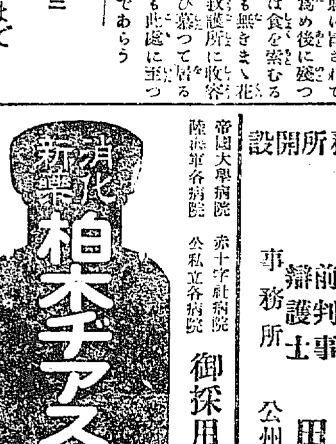
事務所開設

民刑訴訟事件大小ニ拘ハラス依賴ニ應ス

前判事 辯護士 田中忠見

事務所 公州旭町三百十五番地

帝國大學病院 赤十字社病院 陸海軍各病院 公私立各病院 御採用品



糖化力最強にして効力常に一定す

發賣元 大阪道修町三 田邊五兵衛 大阪平野町二 岸田市兵衛 東京本町四 田邊元三郎

營業品目

肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅箭町 朝鮮肥料製造所 電話二六五番

京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

最モ優秀ナル淋病内服藥 ゴノチール

一容器（三十球、六十球、百球藥局用五百球、千球入）

今ヤ内外諸大家ノ實驗ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ醫界ノ泰斗エールリツヒ及グツトマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ烈強ナル殺菌力ヲ有スル「ヂトラメチールチオニンクロールヒドラート」ヲ基礎トシ極メテ合理的ニ締成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱及尿道炎等其他泌尿器疾患ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル一新劑ナリ臨ンデ各位ノ御試用ヲ希フ

○各地有名藥店ニアリ ○説明書ハ現品ニ添附ス

發賣元 大阪市道修町三丁目 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二四九一、振替大阪七五九〇

從來弊店に於て取扱中の阿波共同汽船株式會社仁川代理店の儀今回合議の上十月五日より野口商會に引繼き申候に付此段謹告仕候

仁川本町 山下回漕店

弊社仁川代理店前記の通り今回野口商會に變更仕候に付ては何卒不相變御同情御引立を蒙り度此段懇願仕候

阿波共同汽船株式會社

仁川代理店 仁川本町四丁目 野口商會 電話一七三番

同港町（稅關前） 同荷扱所 電話七五〇番

内科小兒科 入院隨意（普通病室並に隔離病室） 小林醫院

京城旭町一丁目 醫學士 小林千壽 電話六九二番

●太田視學官巡視　[illegible]太田視學官は[illegible]小學校及び公立普通學校を視察せり（元山）

●幼稚園の遊び　[illegible]生九十餘名は四日の秋晴れを南山にのぼりまして何れも遊びの白い前掛[illegible]

[illegible]三郎（廿名）大島良平、井口淡[illegible]三郎、國岡俊哉[illegible]和三郎、吉田研太郎、[illegible]

●戰後來る可き世界流行の變化

著しく東洋的になる傾向がある

陶磁器は支那より朝鮮へ

―三越呉服店社長　野崎廣太氏談―

戰後の歐洲の流行は總てのとが著しく東洋趣味になると思ふ、現に從來が耶蘇傾向であり且つ只今が左樣であるから戰後に於ける世界の流行には非常な大變化が生ずると思ふ例へば總ての模樣にしても從來はけばけばしい濃厚な色だとかまたは圖案にしても大熊とか猛虎のやうなものを用ゐたものが昨今では地味な四君子を寫すとか

◇瀟洒なる色を

用ゐるとかで總てのことが東洋的となつて來た、れはわれわれ日本人にとつては非常にありがたい傾向であると思ふ、併し戰亂後の歐洲各國は國民が莫大な戰費の負擔に苦しまねばならぬから餘り突飛な贅澤をするやうな人は尠くなると思ふ、實は私共の店から申せば贅澤なお客はありがたい譯であるが一般は勤儉であり質素であるとは結構なとである併し東京に於ける日本の流行は漸次生活が高まると共に向上する一方で私共の店では御註文があるからお好の品を調べて差上げるといふ風でお蔭で非常に繁昌して居ります、這回京城の店もいろいろ御引立に預らねばならぬが京城のは寺内總督の御思召もあり殆んど實用向きのもの許りを差上げて居るやうな始末である私は八日頃奉天から大連に向つて出發の豫定、滿鮮共に道回か初めての旅行で到る處總て物珍らしく感じました、併し

◇朝鮮人の白い著物

は何とか改良したいものと思ふ、昨今のやうに染料が高價なれば白衣も好いか知れませぬが第一黒か淺黄にすれば着物の持もよく且つ汚れが見ねぬから仕事の能率も異つて來ると思ふ、但し釜山からの廣軌式の鐵道は全く氣持ちよく日本内地も今のうちに早く改めなければ軍事經濟上非常な損ではなからうかと感じました、また沿道赭い禿山には到る處立派な陶土があるやうである、私共が從來朝鮮の陶器として珍重した中にはあの土を採つて燒いたものだなと首肯される土が方々にあつた陶磁器は全く支那よりも朝鮮の方が優秀である、むかしから日本の茶人は總て朝鮮の燒物を珍重したもので不幸文祿の役にこちらの陶工を總て日本内地に伴れて行つたから本家の朝鮮は廢れたけれ共色と云ひ價値の使ひ方と云ひむかしのものには口で言はれぬ味はいがある、殊に高麗燒の如きは當時の名工が作つたものと見ねて一個の茶碗にも

◇思ひ切つた無技巧

の技巧が見ねる、併し近來寺内總督も朝鮮陶磁器の復活に努めて居られるから追々よいものが出來ると思ふがまだ昨今の品では今一段の研究が要るかと思ふ、先日も頃日の雲鶴青磁を拜見したがまだ及ばぬやうである、併し先年井上侯のお邸に伺つた時寺内總督が袂からこれを見て呉れと取り出された新らしい燒物にはわれわれの感に堪へぬものがあつた、朝鮮の陶磁器は是非共發達させたいものである

●巢立ちの雛鳥、昇六曰く

みつしり稽古したのは十七の歳から

今のこころは何が何やら……

まだ海のものとも山のものとも知れぬ數ある雛鳥の中からこれこそ群雞の一鶴、巢立のあとの望多しと、雛かしやの呂昇の鑑識に適つて、行々は二代目呂昇となるべき

◆多幸な運命

の袖衣に裹まれて、ツイ先月呂昇の養女と決まつた昇六は何んと言つても今度一座中の花形、呂昇に次いでの素晴しい人氣は玄人、素人と言はず『眞黙な語り口』『豊かな聲量』とその眞價を認めさせたのを見ても七光りする養母のお影ばかりでも無いやうだ―など思ひながら四日の午後、昇六に會つて見る豊かな頰に窪む靨、賢しさうな眼を伏せながら面はゆげに東京大阪の言葉をちやんぽんにして話す顔を見てゐると氣のせいか

◆呂昇の若い

時はこんな風では無かつたらうかと思はれる、『妾の生れは大阪でムいますの、天王寺の新世界に履物商をして居ります里の父が大へんな義太夫嗜きで子供の時分からよくもサワリなど語つて聽かせ妾にも、お前も少し習つてはどうやと申しますし妾自身も子供ながら嫌ひでは無かつたものですから、その氣に爲り、父がどうせ稽古するなら呂昇はんがエヽ、と十三の時始めてお稽古に上つたのでした

◆二年ばかり

稽古をして戴いて十五の時でした淨瑠璃もねヽが女の嗜みお針の一通も知て置ねばどむならんといふので二年ばかり休んで十七の歳まで裁縫やらいろいろの事を習まして、愈々本當のお弟子にして戴く事になつたのはその年の事で呂昇が旅へ巡業で出てゐる留守に父が決めてしまつたんです、それから旅へ連れて行つて戴いたり、始終お傍を離れず、みつしり稽古に身を入れだしまして

◆今が二十歳

でムいますから丁度三年、まだホンの未熟者なんです、修業中は樂しい事もあり、辛い事もムいますけれども、今のところはまだ何が何やら一切夢中で語り物の選り好みなどは決していたさうなどといふ考は起りませぬ風邪を引いて咽喉を痛めた時などでも、妾にはどういふものか、聲が出ないなどといふ事は滅多にありませんから些しも苦しくありませんの―』と笑ひながら小柄ではあるが飽くまで

◆健康さうな

身體を心持ち擡つて鳥渡口を噤む「時代物と艶物と、どちらが好き、皆時代物がいゝやうに評判してるが」と言へばそれを否定するやうな亦肯定するやうな口吻で『いゝえそんな事は―』と多く言はぬ所に多くの意味もあるやうだ、それから朝鮮に來た感想やら、北海道に巡業に行つた時の話やら用心深い容子で暫らく語り合つたが、僅かな話の間に素直な所がみゆると同時に將來斯界に頭角を現はさうといふやうな覇氣の閃きを歴々と讀む事が出來たのであつた

豊竹昇六―四日午後本社樓上にて

婦人界消息

▲茂木けん子（高等女學校敎諭）先週土曜日から病氣にて引籠中

▲矢野みつよ（日出小學校訓導）本年七月以來病氣の爲め郷里福岡縣へ歸省中のところ二日全快歸京

神社とお寺と敎會

○東本願寺（南山町）四日午後八時より信友會（歩船鈔）の講話あり

○曹洞宗別院（若草町）五日午後七時半より婦人會の[illegible]あり

○妙心寺の接心　妙心寺十月接心は例月の通り五日より九日まで每日午後七時より修行する由

商況

東京株式特電

	三日前場寄付	大引
日本郵船	一一四、四〇	一一三、四〇
京城電氣	一三八、六〇	一三八、六〇
總潟新株	一三九、一〇	一三九、一〇
同	―	―
日本郵船	―	―
東株第一	―	―
東株第二	―	―
東新第一	―	―
東新第二	―	―

東京債券現物特電

三日出來値段（前日との比較）

東拓	六八、〇〇
京城電氣	六一、〇〇
朝鮮銀行	一七三、〇〇
朝鮮瓦斯	一一六、八〇
南滿鐵道	一四五、五〇

東京公債直取引特電

三日出値段（前日との比較）

五分特別	九八、一〇
五分利	―
一回四分	八三、〇〇
二回四分	八二、一〇
甲五分	九七、九〇

深川在米特電

三日現在高

朝鮮米	一七、九二六
臺灣米	一九、五七三
内地米	一、四一九、五三七

東京期米特電

三日前場	十二月限	後場
寄付	一四、四五	―
高値	一四、四九	―
安値	一四、三七	―
止め	一四、四九	―

大阪期米特電

四日前場	
當限寄付	一四、二五
中限寄付	一四、四九
先限寄付	一四、八四
	止め

下關期米特電

三日前場　買氣旺盛高し

	當限	中限	先限
寄付	一三、六六	一四、〇〇	一四、一九
高値	一三、八六	一四、〇七	一四、二四
安値	一三、六〇	一四、〇〇	一四、二六
止め	一三、八〇	一四、〇七	一四、二四

雜報

●釜山穀物賣買高　九月中の賣買出來高並に概況如左

	出來高	最高	最低
中白米	一五八個	一三〇〇	一一六〇
玄米	四、〇三〇一	一二七五	一二四〇
右内日本種		一三六〇	一一六〇
精上白米	一二	一七五〇	一七三〇
同中白米	三九	一四七五	一四一〇
同新玄米		一二二〇	一四八〇
粉玄米	八四	七〇〇	四〇〇
新小麥	五八九	八〇〇	六七〇
小豆	一〇	九二〇	九〇〇
新大豆	五八四三	七四〇	八四〇
右の内古大豆		八〇〇	八四〇
同小麥		七〇〇	一一五〇
胡麻	三	八〇〇	[illegible]

右の内大玉大豆合計四萬八千四百六十六個にして前月三萬八千九百三十個に比すれば九千五百三十六個の賣買增加を示せるは市場が相場に於ては上半月は保合中半月は僅に二三十錢の高値を出せるも市場賣買品は總て下級品多く上級品少なく爲めに下半月の如きは[illegible]湖南線方面よりの鐵路搬出を仰ぎたる次第なるを以て概して下級品は保合上級品は上向好況を呈せり而して仕向口は浦鹽行の精米日の一方口なりと

●出昆布限先安　非常の割高　布は前報後未だに十二三圓高を支持し昨今の産地相場に比し[illegible]か現在の持品は何れも初端買附の分のみにて其後値安の買附品來着なき爲め餘儀なく下押ぶり居るも如し何れにしても近日後市況の下落を見るべき筈なれば早晩市價の下落を見る事なるべし

●鹽鮭は高値　昨今は鹽鮭の入荷あり相場は十圓五十錢見當にて例年より高くカムサツカ物は現在入荷なきも産地不漁の爲め平年六圓處の物にて九圓近かくに賣るべしと

●綿布天井知らず

綿布は綿絲高印度方面の輸出好況なる等種目物の如き本年夏中の製品は殆ど約定され居り其他の品も一般に在荷の拂底甚しく東西兩市場の昨今は素晴らしき大景氣にて三日の大阪入電によれば今や

十一月物五圓九十錢

―現物五圓九十九錢　恰も天井知らずの概ありと

●粗布細布又値上　二圓方の値上

内地に於ける綿布相場連騰の影響は今回更に粗布シーチングは百五十七圓を發表し之と同時に輸入綿巾の値安に伴ひ細布も

十二磅物十一圓五錢十三磅物十一圓の値上

げを實行するに至り昨今在荷品減退の爲め今後は最安品も次第に跡を絶つに至るべし

●砂糖界の競爭　鈍况

入荷の明治製糖は一時値段の割安に買試みたる向も少なからざりしが品質の嗜好に適せざるもの多く爲めに需要者側の氣受け好からず斯くて當業者も其後同製糖に對しては極めて氣乘り薄く爲めに當地に於ける同製糖は昨今の處[illegible]の競爭場裡より[illegible]兩者の間に激烈にして前途には[illegible]

●千瓢漸く落付

出廻以來波瀾多かりし千瓢も昨今漸く落付氣配を呈し來り[illegible]

下關相場

▲朝鮮白米は依然弛ます共後百十八叺ミ外に新米初めて五叺等の輸入ありし[illegible]

京城正米

▲朝鮮一等白米（當用）十五圓二十錢　十五圓三十錢　十四圓三十錢
▲同　▲優良新大豆

南大門の廻穀

平澤玄米	一二一叺
平澤白米	九一叺
平澤玄米	六五叺
平澤玄米	六七叺
水原玄米	四〇叺
仁川玄米	二九叺
中和粳米	二一叺
没山粳	一六叺

京城雜穀

新物來々出廻りあるも何分今日の處出廻の事とて人氣浮動の折柄相場は[illegible]

仁川現物市場

△籾入津二百餘俵
△正米入津玄米百二十餘俵
△大豆入津百餘俵
△小麥入津なし

田中商店

一、明賣買の迅速信用確實　一、朝鮮米穀取引所仲買人

電話二八番

釜山市場　三日

▲正米（變らず）國登品は日々相場にあり賣り物なく[illegible]買入期米は秋日和の天氣續きと第二回豫想發表は一時の[illegible]市場には何の響きもなく依然として保合の状態にて買人の精米筋も只品の補充買ひのみなり

▲大豆　出廻り品は相應にあり買人も弗々あれども氣配は差したることなく保合の商狀なり

合計	一千九百七十五個
中白	百三十六個
玄米	一千三百三十九個
大豆	五百個

仁川期米

四日前場

▲太阪天候晴　天前寄十四圓八十錢と昨止七錢高の入電二節七十六錢と安移り

▲大阪五節八十錢六節八十七錢と高

▲四日前場寄付[illegible]

移り[illegible]依然数多く四錢と辷り五錢と戻り保合の裡に伸び悩みの成行を示して

市場零聞

▲依然伸び悩む

▲前場の手振　▲安値は硬派の買

迅速確實　仁川米豆取引所仲買人　(マ)廣瀬正次郎　電話六二〇番

▲全く賣る

▲能く賣る

▲甚く買ふ

▲(マ)の買

仁川米豆取引所

四日の十二月限

前場	
寄付	十四圓八十六錢
高値	十四圓八十六錢
安値	十四圓八十錢
止め	十四圓八十二錢

平均値段	
一節	十四圓八十五錢
二節	十四圓八十三錢
三節	十四圓八十二錢
四節	十四圓八十六錢
五節	十四圓八十五錢

賣買取組高

十月限	六千四百五十石
十一月限	一萬二千四百五十石
十二月限	二千四百五十石
三日後場	前日と比較

北濱だより

▲當株ミ增資

▲アルカリ株

大正館

▲賣人氣旺盛　▲一向利目　大阪の昇騰　▲人氣の賣に集注　先安理想に自然　▲精搗着手　▲期米目先觀

〔演藝案内〕

黄金館

電話一八五二（階上）二六三七（階下）　天然色活動寫眞株式會社諸鮮代理店

十月六日より特別大興行

大正館

櫻井町　電話八七三　十月三日より特別興行

壽座

京城壽町　電話五七八番

大好評初日滿員

劇　血染の纒　三卷
新派悲劇　二人の母　四卷

……▲餘興少女浪花節▽……

吉川うの子嬢十二年

堀部安兵衛幼年時代

大正館

有樂館

本町一丁目　電話二六六

御成座

成町　電話一九一

朝鮮新派劇元祖　革新團林聖九　一行每日開演

期米　今延商店（米）　大阪堂島米穀取引所仲買人　致富之架進呈

刺繡實物通信教授　手本及び繡方分解標本は實物刺繡を用ひ毎號講義録に添附（住復端書申込規則送）東京市澁谷拾白井錦繡會

●成功致富の近道は何か

まづ株式相場をなすに限る

株の賣買は決して危險にあらず

「富國世界」社長　商研 淳之助

▲今の實業は資株にて成功し[illegible]

▲相場で失敗者多きは何ぞや

▲株とは如何なるものか

▲株を持つ利益此の如し

▲株の相場をなすは如何

▲株の賣買の利益此の如し

▲株の相場下らば如何するか

▲株式相場の研究

▲株は何人でも何地でも出來る

▲空論にあらず實際的なり

▲余の探究的相場觀

▲株式相場の賣買

▲株式相場講義録の發行

▲如何にせば成功すべき乎

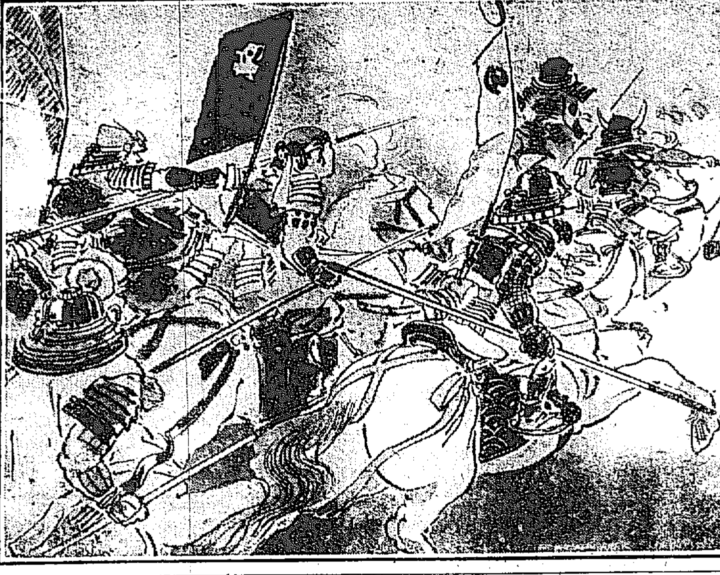
東京神田表神保町一　「富國世界社」

宮本武藏

第百七十八回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

毛利宗意軒之を聞いて宗『日向守鬼神にもあるまじきにさりとては臆病なる御一言』忠『さにあらず、家康公の言葉に神變不思議の人物と言はれたる日向守合戰の道に於いて徳川家人多しといへども勝成の右に出づる者はよもあるまい。最早此城の運命も決まつたり、此上は一生一度の晴軍をいたし、花々しく最期を遂げなければならん、毛利氏にも御覺悟あつて然るべく』と流石藁塚忠右衛門水野の旗の手を見て決心いたしましたのは不思議で、毛利宗意軒も初めは何を藁塚がいふと思つて居りましたが不思議なるかな寄手に於ては水野日向守の軍略に隨つて合戰を初めると、一々其圖に當り、今まで更に破れなかつた天草丸といふ出丸を初め其他の柵々を守る一揆草の風に靡くが如く守りを捨てゝ敗走する有樣、寄手は愈々勇氣を増し、城内に於ては彌々勇氣衰ろへ今は落城も旦夕にせまつて相見ねました、毛利宗意軒も最早力及ばずと覺悟いたしましたが自分は一揆の張本であるから落城といふ時には第一番に討死する決心であります、然るに松平伊豆守戸田左門の兩將水野日向守の意見に基づき二月二十八日愈々諸軍總攻といふ事に決し軍令を以て觸出した、鼓を鳴らして待構へて居りました面々總攻の軍令を聞て大に喜こび何れも當日は拔群の功名をしてあはよくば一番乘をと心懸けましたが中にも軍監榊原飛驒守の子息左衛門佐康勝十九歳の弱年でありますが武勇の性質で當日は是非共一番乘の功名をしたいと心得、豫て父飛驒守が士を好んで諸家の浪人武功勝れた人々を集めて食客にして置いた藤田市左衛門小笠勘助、戸川定右衛門なんといふ豪傑一騎當千の者共を集めて評議をいたしました、諸浪人も飛驒守の厚恩を報ずるは此時と思ひ何れも命を捨て、城乘をする覺悟、手筈を決めて總攻の日を待つて居ります、此方は水野日向守細川の陣所へ來て太守に對面いたし、御當家の持場は本丸に近候間總攻の時は無二無三に曲輪内に攻入り本丸を乘取られ然るべし諸手の合戰には決してお構ひなく唯本丸を目指され候へと親切に敎へましたから越中守父子大に喜こんで是非とも本丸を攻取らんといふ決心、日向守は猶宮本にも面會いたし種々城攻の呼吸などを敎へ、一揆の中藁塚毛利を一人にても御逃しの手に討取つて功名致されるやうにと勵まして立歸つたが、親切な人で諸手の陣を「グル〳〵」迫つて注意して歩るいて居ります、さて愈々寛永十五年二月二十八日本陣より打出す太鼓の音を合圖に、諸手の軍勢何れも勇み立、家々の旗馬印を朝風に吹靡へし、總勢十二萬四千五百餘人一同に鬨の聲を擧げて押出だす、仲にも扇の瞰水の口より押寄たる細川越中守忠利同肥後守光尙父子同勢二萬三千八百餘人、大浪の岸を碎く勢ひにて水の口を討破り三の曲輪へヒタ〳〵と押寄せ唯一息に揉破らんとする、三の曲輪を固めたる一揆大江源右衛門、上津浦三郎兵衛、有馬休意、打田杢之亟、松竹勘右衛門を初めとして玆を先途と防ぐを細川方の勇士增田彌市右衛門、山本新九郎須佐平左衛門、川喜多九太夫等眞先に進んで勇を振るひ忽ちの中に此所を打破つてこの曲輪へ亂れ入る、中にも宮本正名に於ては黑絲緘の鎧胴毛金天突の前立打たる甲を著し白波と名付たる月毛の駒に打跨り、大身の槍を押取つて眞先に進み立塞がる、一揆を東西に追立て南北に蹴散かし阿修羅王の荒れたる如くこの曲輪の門内へ乘込んとする、時に門内を固めたる大將毛利宗意軒令を最後と心得鎧は著せず法服を粧ひ白髮に布を以つて鉢卷なし、大薙刀を右手に取り左手に白絹の四半を持つて群がり來る細川勢の眞只中に驅入り當るを幸ひ薙立てる、其勢ひ宛然獅子の如く、流石の細川勢も宗意軒一人に切立てられ進み兼たる有樣、斯と見るより宮本正名馬を飛して乘込來り武『ヤア其れなるは一揆の大將と見ねたり、細川の身内にて宮本正名見參せん』と呼はり、槍取直して突懸けた。



書画用 桃畫絹 京染吳服商 まや出張店 京城永樂町二 電話一一九六番

銃の修理は多年の經驗と獨特の技工と完全なる設備とを有する 龍山元町二丁目 玉井銃砲工場

教員養成と通信教授

文部省最近の調査によれば全國小學校正教員の不足實に四萬人近くに及び教育上ゆゝしき大問題なるが澤柳前文部次官の會長たる日本師範學會にては此の缺陷を補はん爲め正准教員養成講義録を發行せり十月新學期の由なれば教員志望者は東京牛込津久戸町日本師範學會宛會則を請求せらるべし

暦

十月六日 九紫　舊九月十日 丙子　木命 三碧 東 平 赤口

▲三碧 勤則澤山なる大議論有日 新滯見合 坤の方は吉略銅東▲四緑 順潮の日蟄居 入學金談 名弘求職挾上婚禮訴訟の和を固る等皆吉▲五黃 見かけだおしの事有る日新事手控 舊事は吉買物 雇入に用心の事▲六白 謹の日新事 手控舊事は吉 衛生に注意せらるべし▲七赤 忌々敷事有日 新事手控舊事は吉 萬口事にせらるべし▲八白 喉ばせ主義の事有日新事 手控舊事樹を植ゑるは吉▲九紫 効を現す日轉居入學金件名弘採藥 造婚禮金屬器械發等皆吉▲一白 發徒の日蟄居 入學金件名弘求職挾上婚禮定期取々等萬吉▲二黑 虛榮心の發る日新事手控舊事は吉 女子は日車に乘らぬやう用心の事

近く朝鮮に起る大問題

諸君の生活費が半減せられる

日常我々國民の生活上に無てならない日用品が今日の樣に益々高くなる一方では世の中が不景氣の處へ持て來て猶不景氣を加へる樣になる處が今度東京神田萬世橋の日本通商聯絡株式會社では大資本を投じて特殊の方法と擴大なる機關の活用で我々の使用する日用の雜貨を現在の値段の三分一で供給して居る夫で同社では朝鮮内に此の突飛に安くて實用的日用雜貨を供給する特約店及二部を支配する支部長を募集中であるが間もなく諸君の住居地に特約店や支部が出來たら朝鮮民は非常なる幸福で不景氣はどこかへ飛んで行くだらうと思はれる右の特約店を望む方は返券入れ照會次第同社は詳細なる營業案内と季節商品一萬種からの特價表とを無料で進呈するとの事である

毛のはへる療法

○發毛器の發明秘密に出來る
○輕便な器械を無料で貸與す

美男でも美女でも毛髮不足や禿の爲め容姿を飾り人格を保つ點から非常に困る事がある然るに完全な發毛療法はない尤も纔でぬる藥位で毛がはへたら世に禿頭がなくなるであらうが生理上の原則は不可である故に多年研究の發毛器なるものが東京京橋入船町東京器械療法研究所より發明せられたが既に實驗せし人々の證によれば年齡男女を不問、禿や、毛の薄き人、毛のぬける人、消毛はへ際の惡き人でも生理的器械應用の新療法故效能の容易なるは驚くの外なし此際發明の抜群研究主義の爲め誰でも毛のはへる器械を無料で貸し最も手輕に自宅療法をなす便を與ふハガキで申込めば發毛療法見本の全部を秘密に郵送す

胃病と惡疫

佐多博士の說にコレラや赤痢の黴菌でも胃が强壯で、胃液が完備して居れば、決して傳染の恐はない、何せなれば、胃液中には鹽酸といふものが含まれて居て强烈な殺菌力のあるもの故、コレラ菌でも十數分間に殺すから。常に健胃を圖り、時々健胃劑を用るが善ひと、健胃劑には、ソレ陸海軍醫合議製藥の胃活

胃病良藥 胃活

定價 (胃活錠)二圓、一圓、五十錢、廿錢 (胃活)一圓、六十五錢、四十五錢

請賣 全國及海外要所の各藥店にあり

本舖…東京…大阪…山田安民堂藥房

古錢

いろは別古錢價格表 定價廿錢送料二錢 錢圖六百餘種插入 振替大阪一三〇三〇

發行所 大阪松屋町博物北 家村書店

小便病

小便に幾度となく行きたくなる病 小便した後こゝろ持ちあしき病 勝胱カタル尿道カタル尿道の痛み 小便ニゴリ又は膿や血の出る病

りん病しよから

右病者は往復ハガキにて照會せらる 最良藥を詳報す

播磨國加古川東 藤原悅

運勢

一冊十五錢

九星易學 陶宮家相 骨相速成 教授二〇規 則要錢 東京本郷 眞砂町三 十一 陽新堂

急性慢性胃病 便秘 治療

胃重き胃腸も能く効く論より證據

胃病を快治し つうじをよくす 大効丸

本劑は多年實驗の良劑故永年困難の胃腸も治癒せしむ…▲又虛弱症、座業の人、腦病家、神經過勞の人、大酒家等、常に服せば胃腸を健全にし、食物の消化を助け、逆上を引下げ、づつうを適度にし、身體を强壯にし、且卒中中風を豫防す

價一週卅錢 二週五十錢 一ヶ月一圓

本舖 名古屋市 小林大藥房

ミツワ石鹸

MITSUWA SOAP.

The pure soap, from chemical point of view, should dissolve transparently in Alcohol with no sediment at all. Not only MITSUWA SOAP fulfills that requirement but it possesses a delicate and refreshing smell. It is absolutely free from all traces of impurities and contains no "free" Alkali. It makes a soft, creamy lather, which cleans the skin thoroughly, and wears to a last wafer. MITSUWA SOAP gives comfort and satisfaction every moment of its use for toilet, bath, and nursery.

凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすこ雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ず不可

ミツワ石鹸は化學上の純石鹸たるのみならず、なほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に苟も刺戟を感ずべき虞れあるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し。而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂なし

故に、一般の家庭に於て、浴室、化粧用として、衛生に叶ひ、經濟に合する、理想的實用品なり。

種類	定價
大形家庭用	定價金貳拾錢
中形携帶用	定價金拾參錢
小形旅行用	定價金拾錢
極小形旅館用	定價金五錢

技師 工學士 藤野太治郎

肝油ドロップス ミツワ家庭藥

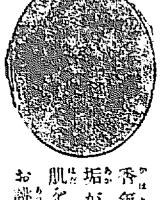
東京市日本橋區橋町四丁目 丸見屋商店 振替東京一七一〇番 電話特長浪花 四四四〇八番 四四四〇九番 四四五〇三番

茂木式特許醤油株式會社製

二ほまれ味噌

製造元 日本醤油株式會社京城出張所 電話二五〇番

東京一の日本一のエグリン石鹸はエグリン石鹸



香氣が良くて 垢がよく落ち 肌を美しくする お誂へ向の石鹸

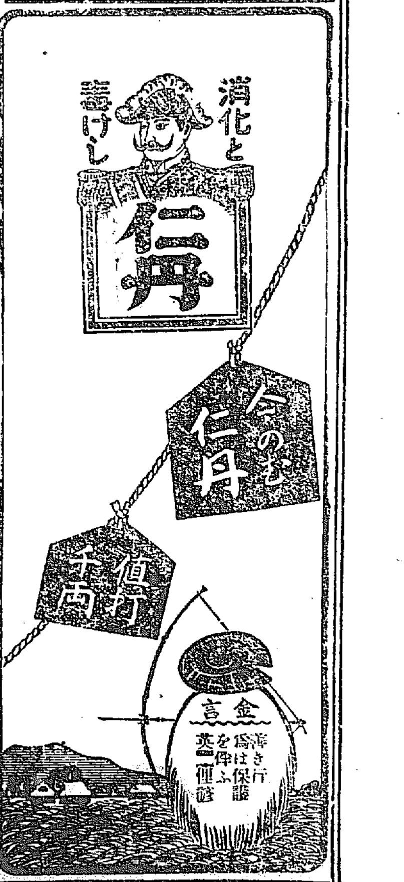
東京・丸の内 藤原商店化粧品部 支店京城黄金町一丁目

壯健なる身體を得るには今直ぐ御使用あれ

品質と價格で大評判 ミツワゴム

製造元 三田土ゴム製造合名會社 發賣元 浅田商店

消化と毒けし 仁丹



京城日報　第三版

京城日報　獨逸の窮迫

獨逸が既により、困憊しつゝある事は、度々傳へられたるも、頑強にして剛腹なる獨逸が、内外に向つて狡獪殺戮、能く今日の位置を保ちつゝある、其の手腕に於て、確に見事なるものあるは、何人も認め得べし。然ども困憊は、遂に如何ともする能はざるべく、宰相ベートマン、ホールウエッヒ氏が、最後の勝利は獨逸に在り、と傲語するも、最早今日にては、寧ろ最後の敗北は、獨逸に在りとの謎に似たり。獨逸國民は最早何時迄も、其の強がりを、眞實として受くる程の白痴に非ざるべし。西部戰線の實況が、獨逸に傳へらるゝの曉は、國内動搖を來すや明なり。由來獨逸は、大戰開始と同時に、國内の情況を嚴秘するが故に、未だ其の詳細を知るを得ざるも、斯る事が何時迄も、繼續すべきものに非ず、今日にては禁を犯して、其の情況を外國新聞に詳報する者さへ現はるに至れり。一方より之を觀れば、困憊せる國民が、其の同情を他に訴へんとする、窮策にて、明かに獨逸國内の困憊を示すべき證據たるを失はざる也。而して最近獨逸國内の情況は、瑞典のベルネル、ターゲブラットに現れたる、獨逸國民よりの投書に因て、明に其の内訌を白狀せり。即ち今日の獨逸國内は、政府が戰爭を倚も繼續せんとするに對し、反對の運動は、到る處に、日々演出せられ、官民の衝突は、隨所に行はれつゝあり。勿論、是等反對運動者の多くは、社會黨員なるが、一般善良なる國民中にても、食料より騷動を演出する事、決して珍しからず、ライプチッヒにては、八百餘軒の商店破壞されたる椿事あり。是等暴動の煽動者は、歸休兵なるが、更に恐るべきは、軍隊内の戰爭反對熱にして、第二十四六十七、百六十一聯隊の一部が、ヴエルダンに於て謀殺を企て、今や彼等は、ウエーゼル要塞内に監禁せられ居れり、事情此の如きが故に、政府は其の處置に困じつゝありと。倚ほ獨逸國民の、最も困みつゝあるは、食料の缺乏にして、食料大臣バトギ氏は、絶大なる權力を以て、諸種の禁令を發し、漸く饑餓の來襲を防禦しつゝあり。倫敦デーリーニュースは、其の有樣を詳報し、獨逸の食料缺乏は、愈々矛盾衝突せる、報道傳へられたるも、此の問題に胚胎する獨逸危機の益々切迫し來りし事は、全く事實なりと云へり。現に雞卵の如きは其の一個を朝食となせば、五百磅の罰金に處せらるゝが如き、能く其の間の消息を、傳へたるものに非ずや。獨逸が前途に對する、悲觀の材料は、更に多なるに不拘、ホールウエッヒ宰相が、此の明瞭なる事實を知りつゝ、其の傲語をなすは、敵國の内情を、看破されん事を慮ると同時に、國民を欺罔せんとする、虚識に過ぎざるべし。英國陸相ロイドジョージ氏と、佛國内閣議長ブリアン氏等の、牢固たる決心を示せし、其の演說は、ホールウエッヒ宰相の耳には、洵に吊鐘の響とも聞ねたるべし。遮莫獨逸が、國を焦土としても、最後の一人に至る迄、力戰苦鬪を續くるの決意あるか、將又敵國領土より驅逐せらるゝと共に、武器を拋つか否かが、獨逸に對する今日の最も興味ある問題なりとす、ホーヘンローヘ公が、米國大統領及び羅馬法王等に向つて、歐洲戰爭は敵味方何れも、最早完全なる、勝利を得る事不可能なれば、此際戰爭を中止して、歐洲の自殺を止むべく、特に盡力ありたしとの旨を述べたるが如き、遂にホールウエッヒ宰相が、其議會に於て、獨逸の目的は唯自己の生存を擁護するにあり、故に獨逸は何時にても、平和の交渉に應ずるものなりとの弱音を吐きたるが如きは、其間或物の潜在せるを窺知するに足るべし。獨逸は戰場に於てこそ、大なる失敗はなきも、最早最後の勝利を期するが如きは、深淵の月を捕へんとする猿猴の類なり。

穀類貯藏中の害蟲驅除法(二)

農商工部技手　村田康太郎

其の他無血蟲動物に對する毒物は多數であるが人類の衛生を顧慮せねばならないから何物にても用ふると云ふ譯には行かない既に化硫炭素の効力不確實と認め其の不利益なるを確めたる故他の方法に依つて試驗をした。フオルマリン、ヘドロールベンチン、ペトロールエーテル等を試驗致したるに何れも多少の効力を奏すれども何れも又不的確であり其の効力の程度操作の難易費用の關係等は之れを調査致しましたが茲には略することゝする以上各種の試驗は何れも不結果に了りたる故改めて硫化水素驅除法を行ふた効力甚だ確實にして從來施行したるものに比して甚だ良好である之より其試驗法を述べる

內容約五百立方センチメートルのコルベン中に多量の害蟲特に穀象の多き部分を集め半充し『キップアパラート』より硫化水素瓦斯を通すれば害蟲は立所に死滅して更に一疋の生存をも認めぬ依りて之を取り出し精査すれば穀象は勿論他の蠕虫蝶類何れも一様に死滅して居る。次に死滅したるもの、蘇生するなきやを試驗する爲めに數個のコルベン中に害虫多き米を投じ硫化水素を通すること約二秒全部死滅したるもの半數は其の儘に半數はコルベンより取り出し空氣の流通善き所に放置して二三日乃至五日を經て精査するに一定の蘇生するものを認めぬ即ち確實に撲滅したる事を確めた。次に米粒に及す影響殊に衛生上の見地より調査をした即ち硫化水素流通後二日の後開放所に置きたる米粒とコルベン中に綿栓したる米粒を取り『グライス』を試みたが何等の反應を認めぬ次に他の化學的の方法によりて試驗したるに硫化水素は痕跡も認めぬ元來硫化水素瓦斯は空氣と共に吸入すれば其の量多量なる時は害を有すれども少量の時は温泉入浴中常に吸入するが如く危險なく又中皆に攝取する時は假令多量と雖も無害であるこの驅除法を行ふ米は前述の如く痕跡も殘存せざる故無害であると認めらる。且米粒に何等變化を來さずと認めらる。害虫死滅に要する最少限度の量を定むる事は經濟上最も必要である即ち內容積皆に五千立方サンチメートル密閉容器中に害虫米粒共に入れ別に『ウールグラス』を置き少量の稀硫酸を入れ〇、〇五より一瓦の硫化鐵各種を作り二秒の後害虫の死滅する限界して量を定めると〇、二瓦にて足り即ち詳しく云へば五千立方珊米の空氣中に只二瓦の硫化鐵より發生する瓦斯即ち約〇、一八瓦の硫化水素に依りて全然害蟲は死滅する故に之れを實際に使用するには倉庫の換氣止むを得ざる減耗等を見て一萬立方珊米に對し〇、五瓦の硫化鐵と一、〇瓦の稀硫酸を使用すれば宜しい。

朝鮮の古城郭(八)

八木奘三郎

(三) 城郭の形狀大小

城郭の形狀は地盤に基く、故に呉越春秋にも闔閭の言を引て次の如く云へり。

夫築二城郭一、立二倉庫一、因レ地制レ宜、豈有二天氣之數一、以威二隣國一者乎

斯は普通の見解なり、築城家は必ずしも地形に據らず、皆法に依て之を制す、彼の伍子胥が呉の都城を亞字形に造り、漢の惠帝が長安城を南斗北斗の形に造り、又匈奴が涼州城を龜形になし、秦の惠王が張儀に命じて龜形城を作らしめたるが如きは皆な物好に造りしにはあらず、其々戰備上の必要に應じて工夫せしものなる可し、今其一例として歴史の文を次に擧ぐ可し。

藝祖初修二汴京一、大二其城址一、曲而宛如二蚓詘一焉、耆老相傳謂、趙中令鳩レ工奏レ圖、初取二方直一、四面皆有レ門、坊市經二緯其間一、井井繩列、上覽而怒、自取レ筆塗レ之、命以二幅紙一作二大圈一、紆曲縱斜、旁注二其下一曰、依レ此修築、故城、即當時遺跡也、時人咸罔レ測、多病二其不一レ宜二於觀美一、及二政和間一、蔡京擅國亟奏廣二其規一、以便二宮室苑囿之奉一、命官侍二董其役一、凡周旋數十里、一撤而方レ之如レ矩、墉堞樓櫓、雖二甚藻飾一、而蕩然無レ復二曩時之堅樸一矣、靖康粘罕斡離不、揚二鞭城下一、有二得色一、曰是易レ攻下、令植二砲四隅一、隨レ方而擊レ之、城既引、有二一砲所一レ望、一壁皆不レ可レ立、竟以レ此失レ守、况幾遠略、王者始驗

藝祖の城圖無法に似て法あり、實に地に適して且つ堅牢なり、部下後人は徒らに美觀を求む、之れ實戰に當つて功を爲さゞる所以なり、此事も知る可き筈にして行はれざる例は誰し、予臺灣を旅行して、全島の城郭を觀るに、其形狀一ならず、或は方形、或は楕圓、或は頭形を爲せしものあり、依て其源を探るに大抵支那本土の孰れかを模倣せしものにて是等は利害、得失と土地柄と地形とを第二段とせし爲め、多く近世の築城あるにも拘はらず、日本軍の向ふに當りては一擊の下に落城せしと何ことなり、右は問題外とするも、古にせよ、今にせよ、城郭に種々の形ありて其の相違を示す場合は大に考へざる可からず、予は茲に其凡てを說く暇なきも、朝鮮の城に古來月城、半月城の名ありて、其實圓形、半月形を爲せる例あるは一に民族的特性に基くことを云んと欲す、之れ世人の嘗て口にせざる點なればなり。

五日朝刊　タ刊と合せて十二頁

定價　本紙一部金三錢五厘　一ヶ月金六十五錢　三ヶ月一圓八十五錢
廣告料　五號活字一行金七十錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯部三四五番　營業部一二一四番　振替貯金口座京城二六〇番

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
鬼の面	谷崎潤一郎	八五
徹底論	加藤咄堂	一〇〇
心靈の現象	福來友吉	一三〇
經濟原論 上卷	山崎覺次郎	二五〇
日本氣候學	大島隆吉	七五
佛英文法研究	中川源三郎	一三〇
近時の經濟問題	民友社	一三〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
不動產登記手續便覧	石黒三郎	一〇〇
ワオー	社會學硏究會	一五〇
採證學	法律新聞社	二〇〇
模範小賣店の組織	佐々木十九	八〇
(縮刷)涙痕	三宅雪嶺	一六〇
慈愛と友愛	廣谷秀雄	九〇
快心錄	横山健堂	一二〇
時は過ぎ行く	田山花袋	一二〇
植物の構造と生殖	石川光春	一〇〇
愛の奇蹟	三浦關造	八五

京城本町二丁目　電話一六六番　振替京城二四五四番　日韓書房

◎書籍案內◎

蒙古通誌　中島竦
帝範臣軌(四字解)　市川鶴鳴著
太陽萬年毛筆
附屬品替穗
同 スクリップ
最新漢和辭典　崗部精一
漢學速成　細川風谷
奴內藏樣　樋口勇夫
漢學襍話　徳富健次郎
トルストイ
法然上人
新京俳句
兩京去留誌
隨感錄
中山大納言
高麗男
鑾勇豪語
和漢辭典
同業平文
雀鮮秘史
長者星
前太平記
朝鮮產業指針
高杉晋作
朝顏栽培法
三國千字文
學理的事業法
財界失敗論
朝鮮熟語解
露國武斷外交
銃獵之趣味
朝鮮新地圖
膠洲灣新地圖
同 後編
女義公傳
藤原餘影傳
名婦士傳
赤穗義士傳
御前講談

京城太平通壹丁目　京城日報代理部　電話六〇番　振替京城三〇〇番

新刊書御案內

書名	著者	定價
禪窓閑話	菅原時保	九〇
一喝禪	中原州	九〇
日本美術史講話	黒田鵬心	八〇
批評論	稻毛詛風	一〇〇
西洋上古史	村川堅固	一七〇
農村處女會の指導	天野	一一〇
組織及指導		
日本刑法	牧野英一	一〇〇
支那古田制の研究	加藤繁	一〇〇
物權法提要	三潴信三	一七〇
日本氣候學	中川源三郎	二五〇
研究的代數學	長澤龜之助撰	八五
冷汗記	大町桂月	五〇
獨習上達新作文	石崎篁園	七五
三年程度中學漢文和譯自修書		九〇
誘訓題書必携	松山堂	八〇
文人黒客里埸必携	同	一〇〇
植物の構造と生殖	石川光春	一〇〇
採證學	法律新聞社	二〇〇
社會に對する醫師の警告	新家齊介	八〇
九種傳染病豫防軌範	瀬川孝造	六五

京城本町　電話二〇八六　振替京城二六七三　大阪屋號書店

商業登記公告

商號新設
商號　潤昌商會
營業ノ種類　毛皮類販賣並ニ加工
營業所　京城府公平洞七拾壹番地
商號使用者ノ氏名住所　京城府瑞麟洞百四拾九番地　白潤洙
右大正五年九月貳拾九日登記
三井物產株式會社取締役渡邊專次郎ハ大正五年九月貳拾六日死亡シタリ
日韓瓦斯株式會社ハ大正五年九月貳拾日本店ヲ京畿道始興郡永登浦京町百七拾九番地ニ移轉シタリ
右大正五年拾月貳日登記

京城地方法院

購買入札
一、桐苗參萬六千本
右購買ス入札希望者ハ大正五年十月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十月三日
京畿道

限定承認及請求申出公告
相續人亡西崎嘉七ノ相續人西崎博吉ハ大正五年九月廿九日京城地方法院ニ於テ相續ノ限定承認ヲ爲シタリ依テ其相續人ノ債權者及受遺者ハ大正五年十二月三日迄ニ其請求ヲ申出ヘシ若シ期間内ニ申出ナキトキハ民法第千三十二條ニ依リ除斥セラルヘキ旨第七十九條第二項ニ依リ公告候也
大正五年十月二日
京城府本町三丁目九十七番地
亡西崎嘉七限定承認者　西崎博吉
右未成年者ニ付キ親權者　西崎テル

會員募集
十月九日ヨリ新學期開始ニ付キ志望者ハ速ニ申出ラルベシ
規則書入用者ハ郵券貳錢送附ヲ要ス
大正五年十月一日
京城大和町一丁目
東洋協會植民專門學校京城分校附屬　朝鮮語講習會

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ
價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

職工募集
仕上工、機關士　拾五名募集
希望者は來所あれ試驗の上採用
京城鐵工所

謹告

各位益御健勝奉賀上候陳者今般朝鮮全道に於ける煙草製造同業者協議の上左表の通り小賣定價改正の上來る十月五日より實行致候間倍舊御眷顧を賜り度此段廣告候也

左表

種類	品名	一包定價
兩切	大砲	一五
同	銃票	一五
同	電話票	二五
同	ホワイトコスモス	二五
同	萬福	三〇
同	ゴールデンヘルメット	二五
同	百圓	三〇
同	一圓	二五
同	バンザイ	一五
同	風船	二五
同	金鹿	二五
同	コンケスト	一五

種類	品名	一包定價
兩切	スワン	一五
同	サン	二五
同	銀馬	二五
同	世界一	一五
同	ゴールデンツバキ	一五
同	コレヤ	二五
口付	常盤	二五
同	千鳥	一五
同	寶來	二五
同	鹿	三〇
同	日光	二五

以上

大正五年十月五日

全鮮煙草同業者

東亞煙草株式會社
朝鮮煙草株式會社
廣成商會
東光社
東西煙草商會
朝日商會
藤本清七
大石勘吉
同志商會
山邊豐
淺谷モト
森本政太郎
金森謙二
手島イノ
石田新吉
山下時次郎
目賀田捨三

田村憲熊
江崎萬八
吉松十太郎
松本誠一
釜山煙草株式會社
中島倉太郎
安命煥
大隈藤太郎
吉田九藏
松坂政太郎
吉留佐吉
村上半三
井上榮藏
藤澤松次郎
森萬兵衛
藤田熊吉
大森喜久太郎

下關期米特賣　仁川米豆取引所

△後場小堅し　△後場の手振　△能く賣る　△現物界　△蓮作說高し
平均値段　八千三百石　十一圓八十六錢　十一圓八十五錢　十一圓八十九錢

●各元老參內

退出後元老會議開會

大隈首相辭表捧呈に付御召に依り松方侯は四日午前十時五十分山縣公は同十一時十分參內九時五十分先着の大山公と會見中十一時三十分西園寺侯も參內茲に一同打揃ふて表御座所に於て拜謁仰付られ後繼內閣組織に關する御下問を拜し閣下を退出後牡丹の間に於て元老會議を開き正午午餐を拜受し午後再開議せり（四日東京至急報＝號外再錄）

●首相辭表捧呈

加藤子を後繼に奏請

大隈首相は四日午前十時半早稻田の自邸より參內表御座所に於て天皇陛下に拜謁仰付けられ老齡重職に堪へざる旨を奏上し謹みて辭表を陛下に捧呈し後繼者に就きては目下の情勢より加藤高明子最も適任なるを以て同子に後繼內閣組織の大命降下を奏請し閣下を退出し永田町の官邸に入れり（四日東京至急報＝號外再錄）

●各大臣連袂辭職

一木內相參內辭表捧呈

既報の如く四日首相官邸に於て臨時閣議開會に付同日午前十時五十分石井外相を先頭に各大臣何れも參邸十一時五十五分大隈首相は宮中退出後官邸に入り閣議を開きたるが其の結果內閣の首班たる總理大臣が辭表を提出したる以上各大臣も亦連袂辭職を爲すことに決定し一木內相は各大臣中の首席たる故を以て閣僚を代表して各大臣の辭表を一括し午後零時五十分參內畏き邊りに捧呈せり（四日東京至急報＝號外再錄）

●寺內伯參內

四日元老會議の結果寺內伯を內閣後繼者と決定其の趣元老より上奏せしに依り伯は御召に依り午後三時參內せり（四日午後東京至急報號外再錄）

●大隈首相の上奏文

大隈首相は四日午前參內辭表捧呈と同時に左の上奏文を捧呈せり（東京特電）

臣重信誠恐誠惶謹ンテ奏ス大正三年四月臣ノ大命ヲ拜スルヤ乃チ政綱ヲ定メ政策ヲ樹テ拮据經營以テ聖旨ニ副ヒ奉ラン事ヲ庶幾セリ爾來爰ニ二年有半從テ施設シタル所ノ概要ハ擧ケテ之ヲ別冊ニ錄セリ、恭ク惟ルニ政情平靜ヲ持シ國務亦整正ヲ見ル臣老軀羸弱洵ニ職ニ堪へ難シ永ク要路ニ膺リテ賢者ノ道ヲ塞ク可カラス伏シテ惟フニ子爵加藤高明ハ練達堪能ノ士ニシテ又久シク余ノ重望ヲ負ヘリ伏シテ冀クハ 陛下哀憐ヲ垂レサセ給ヒ爰ニ臣カ重任ヲ解カセ給ヒ臣カ後繼トシテ高明ヲ擢用シ給ハン事ヲ乃チ恩命ヲ得ハ高明亦匪躬ノ節ヲ致ス可ク政務亦移動ヲ受ケサル可シ臣深ク之ヲ信ス臣今骸骨ヲ乞ヒ奉ルニ方リテ敢テ神嚴ヲ冒瀆シ伏シテ 聖鑑ヲ仰キ奉ル誠ニ惆願屏營ノ至リニ不堪臣重信誠恐誠惶頓首謹ンテ奏ス

●高官辭職

大隈首相以下各大臣辭表捧呈に就き政務官各省正副參政官秘書官其他の關係者は何れも所屬長官を經て辭表提出せるが其重なる者は鐵道院總裁添田壽一、內閣書記官長江木翼、法制局長官高橋作衞、警視總監西久保弘道、內務省警保局長湯淺倉平の諸氏なり（東京特電）

●新政黨綱領十項

近く組織さるべき新政黨の綱領は左の十項目より成れりと（東京特電）

（一）皇室敬親主義を顯彰する事（二）帝國進取の國是を推擴する事（三）國務大臣の責任を明かにし憲政有終の美を爲す事（四）財政經濟の基礎を鞏固にする事（五）國力に應じ國防の計畫を定むる事（六）國際の交誼を敦くし世界の平和に貢獻する事（七）交通機關完備と產業の振興を圖る事（八）教育の普及を計り國民の立憲的智能を啓發する事（九）社會改良の政策を實行する事

●寺伯大命拜受

終に元老會議の結果

各元老は午後引き續き凝議し同三時十分參內し寺內伯の意見を徵したる結果爰に寺內伯を奏薦することに決し各元老打揃ふて 陛下に拜謁仰付けられ凝議の末寺內伯を推薦したる旨を伏奏して御前を拜辭し午後三時五十分各元老前後して退出したるが之れと入れ代つて寺內伯は御召に依り御前に進み內閣組織の大命を拜受して退出直ちに麻布笄町の自邸に入れり（東京特電）（五日午前一時延著）

●特使宮

三日露都御出發

閑院宮殿下隨員より宮內省に左の電報到著せり（東京特電）

殿下には十月三日御無事露都御發御歸途に就かせられたるが長春著は十一日午後五時の豫定なり

●露國の柑橘禁輸

露政府は蜜柑金柑の輸入禁止を發布せり哈爾賓果實市場は狼狽しつゝあり哈爾賓總領事館には未だ何等の通知なきも蜜柑類の產地が虎列拉發生地なる故虎疫豫防の爲め一時的禁止ならん（哈爾賓特電）

●朝鮮產品紹介

露領視察員攜帶す

京城商業會議所より大村書記長加藤囑託等が鮮露貿易視察の爲め六日出發露國に向ひ往復約四十日の豫定にてハバロスク迄の間十四五箇所の商況を視察すると共に朝鮮特產品の紹介斡旋の仲介をなす筈なるが其

●張督軍の謝罪使派遣

張督軍は朝陽坡、楊家城子事件に關し四日謝罪使として楊參謀長、干沖漢を總領事館及び都督府に派遣し公文を以て深く謝罪の意を表する筈之れにて問題一切結了し我軍隊は全部引揚ぐ可し（奉天特電）

●陸徵祥否決理由

衆議院の軍人政治干涉抗議

既電の如く陸徵祥外交總長同意案は百八十九票に對する百九十八票即ち九票の差を以て否決されたるが反對の重なる理由は陸が曾て袁總統時代に總統に關係を有したるが爲めなりと尙衆議院は張勳麾下の一部軍人が政治に干涉し之れが爲め唐紹儀の入閣拒絕を見るに至れるものとして軍人の政治干涉に抗議すべく決議を爲したり（北京電報）

●急行列車に郵便函

遞信局にては十月四日より京釜線上下一號便乃ち南大門釜山埠頭兩驛午前發急行列車郵便車室の側面に郵便物投入函を設備したるを以て列車中の旅客は勿論驛所在の人々の爲めにも頗る利便なるべし右投入の郵便物は郵便車に乘務せる郵便吏員に於て引受日附印を押捺し且つ適當の區分をなしたる上其速達を計るものなりと

●水原鐵道倉庫開始

豫て水原驛は營業倉庫建設中の處此の程竣成に付來る十月十五日より營業を開始す可しと

●川村元帥入京

既報の如く陸軍大將元帥川村景明子は駐滿第十七師團機動演習及び鮮滿各戰跡視察の途次四日午後九時南大門驛著入京したるが驛には山縣政務總監、立花師團長、古海總長、松永道長官、隈部部長、山形憲兵大佐其他文武官多數出迎へ元帥は水原迄出迎へたる高橋總督府武官の案內にて朝鮮ホテルに入りたるが五日は正午昌德宮仁政殿に於ける李王殿下の午餐會に出席午後は山縣政務總監の晚餐會に出席の筈なり

●坂東課長歸任

病氣加療の爲め久しく內地に滯在中なりし警務總監部衞生課長坂東義雄氏は四日午前九時南大門驛著歸任せり

●鐵道雇員試驗

鐵道局にては今五日午前九時より雇員採用試驗を施行する由なるが受驗者は同局傭人中より選拔したるもの約百名なりと

人事消息

▲橋本豐太郎氏（木浦府尹）四日夜入京山本旅館へ ▲廣江澤次郎氏（實業家）四日夜內地へ ▲近藤宏太郎氏（住友碳澤工業所技師）四日夜入京浦尾へ ▲ケー氏（商人）▲ボードワード氏 ▲デイツト氏（以上鑛山業）四日朝入京朝鮮ホテルへ

湖南遊歷（九）

無佛居士の談

▲湖南沿線の發展

廿一日の早朝群山を出發した午前九時過ぎ江景に著いた、直ちに平野東拓出張所長の案內で市中を一巡した、恰も好し其日は江景の市日で名にし負ふ朝鮮三大市の一に數へられてゐるだけ市場は實に肩摩轂擊も啻ならぬ盛況で活氣橫溢取引殷賑江景の眞面目を看取する事が出來た然し之れでも往時に比すれば幾分淋れたのだと云ふ事である以て昔日の繁昌を想察し得らるゝが吾輩は其の所感を例により拙吟に漏らした

地控錦江沃野連　三山翠映稻波鮮
舊時面目依然在　活氣縱橫溢市廛

農工、韓一兩銀行、學校組合、郵便局等をも歷訪市勢を視察し、引續き江景山に登り市中を俯瞰する、其の山には大神宮が祀つてゐつた、又崖の表面を磨し『泡影臺』と云ふ三大文字の刻されしをも見た、而して外の古い石塔に『任出』の二文字が殘れるより推せば或は其附近は昔の寺の跡ではないかとも考へられた大塊老と同車官民有志の見送を受け江景午後一時四十分發の列車で北行する、論山に著くと偶然中村再造氏が乘込んだ氏は其の經營に係る酒造會社の事務を視る爲め論山に來てゐたのである大塊老と予とは數日同じ旅を續け少なからず語り疲れてゐた際とて、此の好談敵を迎へた事は吾々の間の談話の花を咲かすに頗る有力であつた大田で京釜線急行車に乘り換へ午後九時歸京、終りに臨み湖南沿線諸邑に對する見聞の一端を語らう

沿線には上述の外裡里金堤泰仁井邑榮山浦等の諸邑がある、裡里では全州往復に際し郡守や驛長から送迎其他諸種の好意を辱ふした、此地は沿線新興の市街中最も活氣ありと覺へたり、何しろ明治四十四年迄は內地人の居住三十數名に過ぎざりしものが、其後湖南線の分岐點全群輕鐵の終點と確定し支線の分岐點全群輕鐵の終點と確定し四通の要衝たるに至り、加ふるに全州平野の中心地で附近の物資集散上適好の位置を占めてゐるので、發展又發展今日の所新舊兩市街を合し二千餘人の內地人在住者を見るに至つたのは實に鼈數と云ふべく五年前の裡里と現在の裡里は隔世の感以上の變り方だと云ふ、市中も新らしい家新らしい店が並び立ち新開の市街た る氣分は其處にも此處にも見られた

金堤も沃野の中心に位し內地人千餘農場が大分あり銀行も近來出來將來有望だと聞いた、井邑及び泰仁も金堤と對し新開の市街で附近農業の進步發達に伴なひ相當の前途を以て居る、殊に井邑は五十餘萬圓を投ずる古阜水利事業の著手を目前に氣構へ可なり景氣を添へてゐるとの事であつた

全南の榮山浦は往復共に閒夜に通過し、其の望見もなし得なかつたが、此地は榮山江の水運を有し平野を控へ、木浦光州間交通の要衝たる事は恰も全北に於ける裡里の如きもので、ある、東拓の出張所もある、一體に市況は船付場だけに活氣があるとの事を聞いた（完）

尙ほ各地に於て旅行上諸種の便宜を與へられし各位に對し紙上謝意を表します（無佛）

●南言北語

墺太利が將來二十五年間獨逸と軍事外交を共同にせねばならぬのは何故であるか獨逸の捕虜の話に依て成る程と首肯する處がある▲コツヴエルに將官會議が開かれた時墺太利の將軍も十九人迄列席した▲會議の始まる頃バイエルンのレオポルド親王が獨帝からの手紙を持て來た▲例のマッケンゼンは受取つて直立不動の姿勢で讀み終ると煙草を飲む爲に點じてあつた瓦斯の上で燒て仕舞つた▲レオポルド親王が『御返事は』と聞くとマッケンゼンは『自分は軍人としての名譽がある、何もお答申さぬ』と云つた▲列席の將軍の一人が元帥は何な權力を與へられて居るかと聞くと▲マッケンゼン開き直つて『ヒンデンブルグ、將軍と余は獨帝の左右の手である獨帝の頭の命ずる儘に動く其の外に何等の權力の制限を受けぬ』とやつた▲會議が濟むとマッケンゼンは墺太利の將軍達に向つて『君達は獨逸參謀本部の命令を聽くが利益だ自分で國を守る事が出來なかつたのだから切めて助けに來た人の云ふ事を聽くがよい』▲墺太利の將軍達は會議の席上では皆マキヤヴエリ程の智惠がある癖に戰では藥人形同然だ』と笑つて居た相な▲助たり助られたりしてこそ同盟の睦もあるのに助てやつたから已の云ふ事を聽けなんて追剝が身投者を助けた樣なやほんに墺太利も立瀬があるまい▲危ないこと希臘も其手に引つかゝりつゝあつた▲本年の外交官受驗者は六十名であつたが受驗者は年々減る一方でおまけに二度も三度も落第した先生方が多い▲外務省も之には大に閉口して居ると見へ種々な方法で受驗者を多くする事に努めて居るが矢張碌な者は集まらぬらしい▲日本の外交官は卵の間から屑許りと見ゑテ

□附錄

本日再築落成號附錄四頁

●本日朝鮮總督府公文附錄

●大連の人口

一箇年一萬五千の增加

[illegible]徴するも明らかにて實際人口は民政署の調査數以上に上り現在數は九萬[illegible]現在數が萬八千人（內日本人三萬三千五百二十六人）なりしに本年八月末現在數は八萬一千九百人（內日本人三萬五[illegible]）[illegible]外に大連市を除き大連民政署管內に約五千二百の日本人在住しつゝあり[illegible]るに至るは遠きを待たざるべし因みに本年に入り支那人增加の著しき[illegible]

[illegible]り辭職說は奉省の財政難、外交難の爲めに其任に堪へずと云ふに起り又[illegible]せざりし由なり案ずるに張氏は北洋[illegible]派の一人にて南方派は常に氏の[illegible]たしとの電申ありたるも政府は許可[illegible]

●京畿春蠶實收高

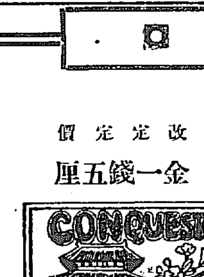
京畿道に於ける春蠶實收高は飼養戶數二萬一千六百八十四戶掃立枚數二萬七千五十五石（三割八分五厘）を穫れる增加したるは斯業獎勵に依るものにして之を府郡別に前年と對照するに京[illegible]

□十月五日より實施□

煙草小賣定價改定廣告

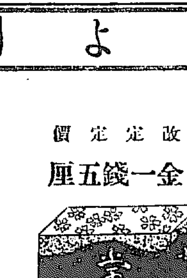
全鮮煙草製造同業者協定に依り右の通り改定仕候處今後は益々品質の改良を圖り愛煙家諸彥の恩顧に副はんことを期し候間倍舊御愛用奉願上候

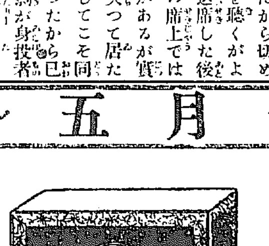
改定定價 金一錢五厘



改定定價 金一錢五厘

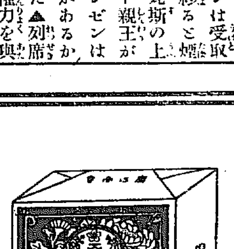
改定定價 金一錢五厘





改定定價 金二錢五厘

改定定價 金二錢五厘



改定定價 金三錢

煙草小賣定價改定廣告

□東亞煙草株式會社□

の人口は最近一箇年間に於て著しく增加したるが人口增加の事實は市內に於ける家屋建築の盛んなる現象に出で營業者あるが爲にて今大連民政署に就き昨今兩年度同期間に於ける人口を聞くに昨年八月來現在數は六年間に一萬三千五百人の增加を見たる次第なるが實際の增加數は少くとも一萬五千人位と認めらるべく此の率と正比例して年々增加しつゝあるは寔に喜ばしき現象にて此勢ひを以て進まば大連市の人口が十萬を算す

●張督軍の地位

昨今張奉天督軍の辭職或は革職說あ……る處に據れば張氏には曾て辭職申請の事なし唯だ要政面礙の爲め晉京し……政府も今の處同人を革職せざる事明らかなる可し（奉天）

……戸數は四千四百五十二戸（三割五分八厘）を又滿產額に於ては一千八百……枚數減少せるも之れ前年來需要不足を感せる爲め保養を手控たるに依るものなりと

川村元帥著京　―四日夜南大門驛にて―

●百聞一見に若かず

憲兵補助員は勇敢で氣慨に富む　辨當を喰べながら朝鮮米は旨い

陸軍大將元帥　川村景明子談

陸軍大將元帥川村景明子は猪鹿倉副官を隨へ四日午後九時南大門著山縣政務總監、立花師團長、松永長官其他多數文武官の出迎を受け高橋武官案內、總督府より差廻したる馬車にて朝鮮ホテルに投宿せり元帥は特別列車の卓上に朝鮮地圖と總督府年報とを展げながら記者に語る

予は朝鮮の土地を踏むのは今回が初めてである、二十七八年戰役には柳樹屯から上陸し三十七八年の役には鴨綠江口大孤山に上陸し遙かに朝鮮の山々を右手に眺めたばかりであつた、朝鮮は大變に好い處だと云ふ事は常に聞いて居つたが百聞は一見に若かずで實際來て見ると單に聞いて想像して居つたとは非常に異つて山の形や田園沃野の狀況など少しも

◇內地のそれと違つた處はない、唯どうも朝鮮人の家屋の陋少なるには聊か懸いた、あんな家屋ばかり建つて居る村落や市街に虎列拉なぞが侵入したら定めし困る事であらうと思つた、各驛々でゲートルを卷いた凜々しい裝ひをした朝鮮人の憲兵補助員をよく見受けたが聞く處に依ると彼等は却々勇敢で氣慨が有つて、其の上國語によく通じて居るとの事であるから以て大いに用ひるに足るであらうまだ朝鮮には急に徵兵令を施行すると云ふ運びにも行くまいからそれまでは成るべく彼等を用ひる事は上下相疏通するの

◇一楔子を成す ものであらうと思ふ……と話頭を轉じ……今回の行程は京城に二泊し其の間に仁川及び元山を視察する筈であるが、政務總監、軍司令官を訪問した上で李王殿下の御都合次第多分兩宮へ伺候する心組で居るし其の上龍山の師團も能ふ限り詳細に視察したいと考へて居るから或は一日位は延るかも分らないそれから平壤に下車し日淸戰役の戰蹟を視察し戰蹟講演を聽き度いと考へて居る夫れから鴨綠江に於ては二十七八年の役に於ける第一軍の渡河戰の戰蹟を視察する考である其れから先きは今回の

◇旅行の目的地 で有つて……と微笑しながら……何んでも安東縣まで關東都督府の副官か參謀が迎へに來て居る筈で有るそれから先は先方が引張り廻して呉れるので何處へ行くのか予の知つた處では無い……滿洲の問題……それは近來彼んな風に絶へずゴタ〳〵が有るが而し吾輩の滿洲行きを何にも其んな問題へ結び付けて考へるには及ばないではないか、吾輩が駐滿十七師團の演習を視た後に何處を廻つて歩くかと云ふやうな事は案內者次第で其の時に何處へ行くか豫め判らぬ事とし置から（汽車が平壤に著くと元帥は副官に命じて驛の賣子から二十錢の辨當を買はして手輕に晩餐を始めながら）

◆朝鮮の米は甘 いと云ふが眞實だ此の辨當で充分空腹は凌げる軍人は質素にしなければ成らぬ金口煙草や何かを喫むのはまだ日本人には贅澤すぎる殊に軍人は然うである朝鮮には在鄕軍人が多いそうであるが在鄕軍人は在鄕軍人だと云ふやうな考へでは不可ぬ何時でも軍隊に居ると同じやうに御勅諭と五箇條の軍人精神を服膺して居らなければ不可ぬ歐洲の交戰國を見ると貴族でも學者でも實業家でも皆な祖國の爲めに一致して戰つて居る他から見ると斯んな訓練も何んにも無い軍隊は何んの役にも立つまいと思はれるが其處に一致の强みは有る吾々は平時にも戰時にも常に擧國一致して君國の爲めに盡さなければならぬ

●生きて二度とは實家に歸らぬ

憐れや妻女法廷に泣く―開城貞女譚

開城松都面南山町貸金業李林𡙇長男李建鏞（廿）の家は相應の財產あり同人が十四歲の頃兩親の意志に依り同地滿月町にて李建鏞方より以上の財產家なる曹秉先の二女曹基煥（二一）を建鏞の妻として迎へ新郎新婦は十四歲と十五歲を以て同年舊八月廿四日

▽正式に結婚式 を擧げ夫婦仲も睦じく何の不自由もなく舅姑との折合ひもよく打過ぎ同棲しゐたりしが、夫婦は既に年頃となりても其間に肝腎の子供の生れざる爲め建鏞の兩親も只管に幼兒の產れるやうに神に祈願を籠め居たるも一向生れさうな模樣も無きため寧ろ子の產れさうなる他の女を見立て、貰ひ替へんと迄基煥を虐める事あるも基煥は耐へ忍びて舅姑に對しては孝養を怠らざりしが昨年十月頃月經止りたる爲め醫師に就いて診察を受けたるに多分姙娠したるものならんとの言葉なるより夫を初め

▽一家の喜び 斜ならず姑も其後ガラリと態度を一變して基煥を愛し玉の如き初孫の生れ落ちる日を指折り數へて待ちたる甲斐も無く月も早や滿ち行けど一向に夫らしき模樣もなき爲め一家のものは再度怪訝の眼を以て萬一他の病氣にはあらざるかと念の爲め產婆をして診察せしめたるに姙娠にあらず又何の異狀もなしとのことに惜は離婚せられんことを虞れ斯くは空事を並べて今日迄家人を瞞著したるならん左樣な不屆なる嫁は吾家の家風に合はぬ故卽時に生家に立歸るべしと酷く當られ基煥は泣きつゝ『妾は生きては二度と實家には歸らぬ覺悟で夫の家に參つたものであるから、縱令殺されても生家には歸らぬ』と

▽美しき心を楯 に頑として應せざりしが建鏞の家にては遮理無理追ひ還さんとしたること再三ならず既に昨年八月二日夕刻離婚を迫られたる結果悲觀して基煥は靑郊面德山里の裏山にて細紐を以て縊死を企てたることありしが通行人に助けられたることとあり又本年九月一日夕刻も例の辛き憂き目に逢ひ住宅附近なる路傍の共同井戶に投身して自殺を企てたることありしが其際も附近の者に引揚げられて果さず、其後建鏞方にては斯くなりては附近の人々を騷がせ社會に對し面目なく嫁の爲めに一家の名譽を毀けらるゝと斷然離婚せんと決心し九月十三日原告建鏞名義にて妻の基煥を相手取り離婚請求の訴訟を京城地方法院に提起したり爾來同法院に於て審理中の處裁判所にては兩名を召喚し建鏞に對し絕對に

▽基煥を嫌ひて の訴訟なりやを確めたるに全く然らざる事情も判明し尚口頭辯論に際し基煥は當事者として出廷すべきこと、なりたるより同女は進んで法廷に出立で審問に對し事實の申立てをなしたるが實家にてはそれ程夫の家より嫌厭さるゝなれば生活に何等差支なき吾實家の事故同女を引取るべしと申出たるも本人の基煥は更に實家の言を肯せず夫の家を生きながら什うしても立出でないと堅き決心を繰り返したるより此程原告の請求は棄却となりて離婚を許さざる旨判決ありたり

●親子抱合つて列車に轢かる

▼全北裡里驛の椿事

全北全州郡參禮面新江里の居住張明彥の妻柳姓女は今年三つになる娘を抱き三十日午後七時三十分裡里發輕鐵列車に乘り込み發車前慌てゝ下車せんとしたるより車掌は危險と見て之を制し後部より女の周衣を攫み線路外に押出さんとしたるも生憎く上衣は破れ女はアツヤと云ふ間もなく線路內に顚倒したるより車掌は大聲に叫んで列車の停止を求めたるもブレーキの備へなき爲め俄かに停車する事を得ず遂に女は車輪に引込まれ約七八間餘引摺られ漸く列車停止したるより係員は直ちに車輪の下に仰臥せる女を引き出さんとせしも下衣が堅く車輪に喰ひ入りて離れず折柄急報に接したる裡里憲兵分隊より上等兵一名補助員一名現場に出張し一方非常汽笛を耳にしたる同面長は靑年三四十人を作ひ驅けつけ來り臨場の官憲と協力し漸く列車を擡げて女を救ひ出す事となりたるも無慘にも娘は卽死を遂げ女は脚部に凄慘なる裂傷を負ひ步行も叶はず直ちに群山耶蘇病院に送り療養中なるが生命覺束無し（群山）

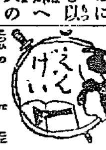
●宵の盜强

醫師の妻に重傷を負はせ　四百圓を强奪

去る一日午後七時奉天小西關大什字街醫師堀春三郎方に四名の賊闖入し折柄主人は盛京時報社に招かれ宴に臨みて不在中同人妻女米子（三）に重傷を負はせて金四百十圓を强奪し去れり此報に接し我官憲は直ちに犯人の搜査に著手し支那官憲も亦極力搜査中なるも未だ逮捕に至らざるが同妻女は賊の闖入に驚き之を防がんとしたるに一名の賊は携帶せる六連發拳銃を以て矢庭に同女の後頭部に一擊を加へ更に數箇所に打撲傷を負はせ同女の倒るゝを見て在金全部を强奪し去りたり同女は直ちに赤十字病院に入院手當を受け經過良好にて生命には別條なしと該賊徒は其兇行より察すれば眞の馬賊團等には非ずして强盜の所爲なるもの、如く奉天城の膝元に於て邦人に對して斯かる兇行を敢てしたる事は實に稀有の出來事なりと（奉天）

▲平壤秋季庭球大會

十月一日平壤高等普通學校の主催にて同地の敎育者及び道廳內同好者の聯合テニス大會を同校コートに開く同日は朝來雨模樣なりしも來會者甚だ多く定刻までに四十名の多數に達せり、午前十一時に開會午後四時半迄に亘り三回の聯合マツチあり第一回は既成の番組に依りて行はれ各學校道廳對抗の姿となりて力の入れるゲーム多し第二回は抽籤に依りて新に番組を作りし爲め面白き顏合せを生じ滑稽百出番狂はせ中々多し第三回は抽籤に依りて全會員を二組に分ち紅白勝負行はる中頃までは兩軍互角を保ちて進み競技猛烈應援亦甚だ盛なりしが紅軍は中堅以下漸く振はず遂に白軍優退四組を殘しての勝となり喝采裡に閉會を告げたり最後に田中同校長より賞品の授與あり賞品は必ず御持歸りを乞ふとの前提にて渡されたるものを見るに番傘あり竹箒あり鬮取あり丸髷の型あり更に敗者に對しては同校農園に作りたる一貫目もあるべき甘藷を送りたるには大笑ひかくて和氣靄々裡に解散したるは午後五時近來になき盛會なりき



▲有樂館　豐竹呂昇は既報の通り京城興行が豫期以上の盛況なりしと共に負の勸めもあり五日六日の兩日日延べを爲す事となりたるが人氣は依然として盛んにて六日目の語り物左の如し

▲朝顏日記濱松小屋（金升）▲玉藻の前道春館（都升）▲佐倉宗五郎內（呂勇）▲加賀見山長局（喜升）▲お染久松野崎村（右升）▲菅原寺子屋（雛升）▲朝顏日記宿屋（昇六）▲（呂勇）▲布引瀧松波琵琶（東廣）▲時雨のこたつ紙治內（呂升）

▲壽座　市川市十郎、片岡我左衞門、中村雁十郎一座にて四日より三の替りとして春日局、籠釣瓶、加賀見山の二役を勤め居れり

▲黃金館　來る六日より全部新寫眞と差替ふべく本回館付たりし兒島旭洲は久しく地方に赴き居りしが近頃歸り來りて得意の琵琶彈奏を試むる由∧奇譚アルマー君の女權擴張∧實寫英國海岸の戰況∧喜劇父の勝利∧教訓諧謔劇車夫∧探偵新劇マルツカ城全三卷∧新劇頭島猫騷動全四卷

▲大正館　泰西活劇波の上、新派悲劇血染の纓、新派悲劇二人の仲にて少女浪花節村吉川うめ子の浪花節も喝采を受け居れり

▲吉田菊五郎來らん　有樂館にて目下打上後西洋物の大寫眞を以て開館すべく亦その餘興として水藝及び奇術の元祖なる露西亞踊りの吉田菊五郎父子も出演すべき計畫の由

●忘機吟社例會延期　同社十月例會は八日に開催の筈なりしも都合により二十二日（日曜）に延期したりと

●朝鮮及滿洲發賣禁止　朝鮮雜誌社發行の「朝鮮及滿洲」十月號は其の筋より發賣頒布を禁止せられたり

滿員大入續きの
名人呂昇六日目

一御祝儀寶の入舟……昇玉　小昇
一阿波鳴戶八日順禮歌之段……昇文
一鎌倉三代記三浦別れ之段……金昇
一加賀見山五つ目又助住家……都昇
一增補菅原松王屋敷……呂勇
一明烏　山名屋……雛駒
一おなつ淸十郎　港町……右昇
一岸の姬松　飯原兵衞館……喜六
一日吉丸　小牧山城中……昇勇
一伊賀越　平作切腹……東廣
一三十三間堂　平太郎住家……呂昇

今明日限り斷じて日延なし　京城本町一丁目　有樂館

コレラ彙報

▲基隆に九名　去月二十七日午後三時三井物產會社チアーター汽船宇治那丸は虎列拉の疑ひある患者八名と死者一名とを載せ基隆に入港せるが同船は去る十六日バダビヤを出帆し三池に向け航行中二十一日船員に一名の患者發生したるも其後異狀なく其儘航海を繼續中二十七日より二十八日にかけ連續八名の患者發生し基隆へ寄港せるものにて其係官出張臨檢の上排泄物を檢鏡せし虎列拉菌と認む可きものあり二十八日試驗の結果愈々眞性コレラと決定したり（臺北）

▲龍山疑似患者　龍山元町四丁目金應澤（六七）は四日正午檢鏡の結果疑似コレラと決定す

京日案內

普通一回前金一回（一行）三十錢　番外一回前金六十錢（五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

下宿讓渡し　永樂町目拔の場所　（姓名在社）461

▼大正六年々末年始引札代用絶大の効力有之新案品取揃有居　京城本町●電二五二七●ツボヤ書店 427

●店員年齡廿歲前後身體强健者得意廻りに經驗ある者午前中來談あれ　龍山榮町　田屋吳服京染店 462

店員募集營業に經驗ある者履歷書携帶本人來談あれ　京城南大門內正面　救世藥舖 466

●店員入用　市內身元保證要す　本町四丁目　食料雜貨丸山商店 459

●滿洲戰出し賣子三名入用　龍山元町一丁目電話百五十四番　畠山酒造場 443

●代診生至急入用　履歷書携帶來談あれ　姓名（京日仁川支局）454

●有給外交員數名採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城花園町一二二　中央金物新報朝鮮支社 458

●金融　月收の御方へ信用極秘立替　御報伺上候　京城大和町三　不老湯前橫丁下る　起木屋 457

小僧入用　年齡十五六歲保證人を要す希望の者は履歷書携帶來談　南大門通吉野商會 467

●習字御手本類は何でも有ります（目錄進呈）　東京市神保町九　精華堂法帖店 265

●貸家　日本建温突付三室五圓　三坂通官吏向の別莊的　管理者龍山印刷局先　畑中 296

古本なら野村　買入誠實御報參上　明治町筋電二六三六　野村書店 431

●古本熱心高價買入　●是非御試買を乞ふ　電話二七八一番　△御報參上　△本町四　書肆群書堂 437

恩給年金立替　△新龍山漢江通　六番地元田町　江州屋龍山支店 452

番外

見習店員採用　高等小學校卒業年齡十八歲迄市內確實なる保證人要二名　自筆履歷書持參來談あれ　南大門通一丁目　三國商會 464

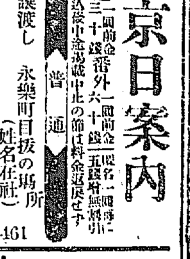
中古ミシン賣買　御用の方は御一報次第參上可仕候　京城鍾路二の二七　電話二三三八　楠商店 467

算筆簿記の心得あるもの　夜間職を求む　保證人あり（姓名在社）465

●京城春川間毎日午前八時出發　行自働車賃金片道四圓　京城南大門通一丁目　廣橋自働車　主務　金正淵　電話二一九番 428

▲鑛物各種分析　京城太平通二の三三（元朝陽分析所）　電話二八二三　松永分析所 260

京城春川間　乘合自働車　京城發前九時　春川發前七時　賃金片道四圓　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　支配人　春川自働車商會　松田壽男 429



和洋ストーブ一式　煙突製造　ストーブ据付　板硝子ペイント塗料
京城本町二丁目（電話四二三番）
岩見伊勢松商店

國分象太郎氏增補並校正　國分國夫著
第六版　日鮮通話
金五十五錢（郵稅共）
全國到る處の書店にあり　但し市外は要郵稅
發賣元　京城本町　釘本商店　電話四五番　振替京城二五六番

△謹告▼
來る五、六、七日の三日間當地三越吳服店へ貸切仕候間乍遺憾一般御客樣は御斷り申上候
尤も八日よりは從前通り開演可致候間陸續御來觀願上候
京城櫻井町二丁目　日本活動寫眞株式會社代理店
大正館

日韓書房
新版報告
三宅雄次郎著　改訂縮刷　想痕　定價一圓五十錢　送料十二錢
森田幸次郎著　常識養成　碁道大觀　定價一圓五十錢　送料十八錢
鐵道院編　本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響　上中下卷附圖　定價十三圓
原友巳著　改訂　考試提要　定價四十五錢　送料八錢
山路愛山著　德川家康　定價一圓二十錢　送料十八錢
京城本町二丁目　電話一一五　振替口座四一五

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
頭取　佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

コレラの豫防には
臺灣總督府專賣局の方劑にして
殺菌力の最も强大なる
後藤デシン
を使用せらるゝに限る
後藤デシンは千倍の稀釋液にて優にコレラ菌を死滅せしむる特長あり
本品は全國信用ある藥店にて販賣す

明後七日（一日だけ）新築披露の爲め臨時休業仕候
十月五日
三越吳服店

女鵺

淺邊默禪

(二三) 囚れ人

『如何です、お孃さん。不思議の品でせう。貴女にとつては實際金剛石や黄金以上の寶玉ですよ。この品一つで凡ての難問題が解決するんですからね。これを偶然に雪の中から發掘するまでの僕の苦心は、なかなかどうして、カリホルニヤ邊に出かけて鑛脈をほりあてるやうな物ではありません也。アハヽヽ、痛快ですなア』

大野は獨りで祝して得意らしく傲語した。鳩子は怪訝な顔をして

『妙ですわね、甚麼したといふんです、一體……私しには些とも譯が分りませんが……』

『解るでせう。』大野は微笑して『實物をお目に懸けてから說明した方が分りがよいから、今まで故意と默つて居たですが、實は僕が生擒つたんですよ。熊の代りに……さア御覽なさい、此の通りです』

源太の肩にかけてあつたマントを剝ると、彼の双の手は後に廻されて繩を縛りつけられてゐた。投出した兩足も同じ手拭を引裂いた紐できりりと堅く縛められてある。

『まア』鳩子は目を瞠つた。

『貴女は御存知がなかつたでせう。ちやうど熊が飛出して大騷ぎをしてゐる最中です。此奴が後の丘に現れて來て、木の蔭から貴女を狙擊しようとしたから、僕は急いで馳つけて行つて、いきなり取捉まへてやつたんです。その時に此奴の打出した彈が貴女に命中しなかつたのは、實に天祐ともいふべきもので、貴女の生命がまだ將來ある證據でせう。それから二人で取組合ひました。烈しい格闘をやつたんです。そのうちに谷へ顚がり落ちて多少負傷はしましたけれども、結局僕の方の勝利になりました。やはり邪は正に敵せずですなア』

『あれ、自分の方の能書ばかり列べてゐらア。些とは俺の強かつたことも話してくれよ。なアに、彼ン時に岩ツ角で肋さへ打ツつけなけりや、どんなことを爲たつて倒れるとぢやねえんだ。お前のやうな青二才に取詰められるのも時の運り合せよ。アハヽヽ、何て間が惡いんでせう』。

源太は傍から混ぜ返して冷笑つた。

『默つてゐろ、喧ましいツ』大野は怒鳴りつけた。

『あいよ』平氣なもの。

『それから此奴の持つてた手拭を引裂いて、ぐいぐい手を縛りつけて、皆なが歸りかけてから此處まで引張つて來て、この洞の中へ叩込んでやつたんです。おい、源太。汝には持つて來いの牢獄だつたなア。風は吹込まず、雪はなし、熊の籠つてゐた巣だけに自然にできた草の寢床はあるしさ。汝には勿體ないくらゐ贅澤な待遇だぜ』

『冗談いつちや不可ねえ。いくら穴の中だつて、火の氣がねえところに叩ツ込まれてよ。五時間も六時間も晒し物にされたのが何が贅澤だいツ。實は足の繩を食ひ切つて、それから手の方をソロソロとお見舞ひ申すつもりで、先刻からいろいろ行つて見たんだが、俺の脛は人一倍長い方だから、どうしても肝心の所に齒がとゞかねえのだ。忌々せえが面倒くさいから止めにした』

『なに、切つて逃げようとしたのか油斷のできない奴だなア』

『油斷のできねえのは今に始まつたことかい、ヘン、お氣の毒さま』

『今に見ろッ！奴！』

『勝手にしろいッ』

ごろりと後に引くり返つて、浪花節を唸り始めた。

『この通り、手も著けられない惡漢です』。大野は信と睨みつけた。

『と、源太は又た勃然と起きて

『ちよいと御樣子のいゝ學生さん。貴君にお願ひですがね。どうだお氣を一本頂戴よう。私貴君の吸附煙草が飲みたいのよ、ね、いゝでせう』と又の聲色。

都山流尺八指南開始
師範 佐藤都令
京城南山町秋吉邸前

歸へるねしより
木村屋パンの
京城みやげが待ちかねる
(京城明治町 電話八七〇)
市内に同名のパン屋あるも當店と何等關係あり

●●●日本百科大辭典の特價提供●●●
吾が邦の資産を傾倒して學界のため將た社會のため刊行したる日本百科大辭典が未だ曾て試みられざる特價提供を斷行したるは出版界の快事にして特にかゝる特典は將來再び得べからざる事なるのみならず其の部數に限りあれば…… 日本百科大辭典完成會に委ね同會は德川侯爵、…… 東洋西洋の諸問題を網羅して餘す所なく…… 家庭に於て既に本書を備ふるものが…… とお勸む(第一卷より第七卷迄既刊七冊特價六十三圓月賦ナ十一圓) 賣所東京神田三省堂

商況

[illegible]

▲◎能く買ふ [illegible]

秋は心身過勞する時
腦神經の患ひ易き時
腦神經病特效藥として
滿天下に公認せらるゝ
健腦丸の服用季は今!!

健腦丸 腦病藥 KENNOGWAN

かゝる人は健腦丸を服用せよ
▲頭重く頭痛眩暈に惱む人
▲大酒家喫煙家又は逆上せ易き人
▲遺傳的中風卒中の素質ある人
▲耳鳴又は夜分眠られず苦む人
▲よく物を忘れ記憶力減退の人
▲便秘あり常に氣分惡しき人
▲些の事も神經過敏に動き易き人
▲仕事に掛りてもスグ倦き易き人
▲神經衰弱ヒステリイ性の人

特長
健腦丸を常に少量宛持藥とせば逆上を引下げ、便通を快くし懸る可き腦充血を未發に防ぎ記憶力を增進し頭腦を明快ならしむ。
速に一週分を試みよ必らず效あり。

藥價 四日分廿錢 半週四十錢 一週七十錢 二週分一圓卅錢 三週分壹圓八十錢 五週分二圓八十錢 十週分五圓也

本舖 大阪 東京 丹平商會藥房
全國海外ノ信用藥店ニ有之ス

實業之日本社
歐洲戰亂は益々我が實業界の活動を促す
總裁 大隈侯
副總裁 澁澤男
實業講習錄
◎新學期開始 〔銀行、會社、商店員は來れ……實業に志す青少年は來れ……〕僅か一ケ年にて實業の新知識悉く備る
◎會員大募集
會費 一ケ月分五十錢 三ケ月分一圓四十五錢 六ケ月分二圓八十錢 一年分五圓五十錢
◎五大特典提供 ◎入會金免除
學科 △商業簿記 △銀行簿記 △商業要項 △商業作文 △經濟講話 △實業讀本 △商業英語 △商業數學 △商業習字 △珠算暗算 △商業地理 △商品學 △實業史 △商業實務 △處世法 △科外講話
實業界は實業の新知識ある青年を要求す
見本●●●●無代進呈
帝國實業講習會 東京京橋南紺屋町 振替東京一四一

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

花柳病外科專門
◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病
◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病
◎婦人病◎神經衰弱
◎六〇六注射包皮其他手術
◎診察無料 入院隨時
京城長谷川町南大門通農銀裏
司生堂醫院

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 ○立神丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 ○立神丸 月 日後十時出帆
○元山、城津、浦鹽行 ○小倉丸 月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 月
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
本社 釜山海岸通 大池回漕部 取扱店

大邱浦項間自動車時間
[illegible]
大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車時間
[illegible]
金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番 京城南大門松原運送店(電話一七〇番)
○全羅丸 十月九日 ○京畿丸 十月十八日 ○黄海丸 十月三日 ○成鏡丸 十月十三日 釜山發 (門司より釜山各港寄港)
○穩城丸 十月一日 ○昌平丸 十月八日 ○鏡城丸 十月四日 元山發 (元山より各港經由雄基行)
○忠清丸 十月二日 ○平壤丸 十月十二日 元山發 (城津、浦項寄港釜山より門司又は長崎行)
○永興丸 毎月廿八回 元山發 (北久味、五里浦行)
○德丸 十月六日 釜山發 (甘浦、九龍浦、浦項各寄港)
○江陵丸 ○瑞陽丸 毎日 釜山發 浦項發 (長生浦方魚津寄港)
○三浦丸 十月六日 釜山發 (長承浦、巨文島、濟州島各寄港)
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發
○巨濟丸 ○慶寶丸 (二日目毎 國水浦行)
○順天丸 三日目毎 木浦 (各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續)
○慶興丸 十月四日 木浦發 (各港經由濟州島行西廻)
○慶興丸 十月二日 木浦發 (南多島海列島行 月三回)
○公州丸 十月七日 木浦發 (各港經由濟州島行東廻)
○宗信丸 十月三日 仁川發 (海州他各港經由、鎮南浦又は白翎島行)
○江原丸 十月七日 仁川發 (晋島、大逃、芝栗行)
○晋州丸 ○慶水丸 十月二日 十月七日 仁川發 (各港經由木浦行)
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發 (江華島、喬桐島、海州行)

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
田浦丸 十月九日 正午出帆
砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸通 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆
外航所屬航路各線を除く時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、濟州、神戶、大阪行 須磨丸 十月四日 後五時出
×天津丸 十月十一日
天智丸 十月七日
○木浦、釜山、鹿原、郷の浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 後二時出
×信濃川丸 十月三日
○群山、釜山、横濱行 福州丸 十月九日 後二時出
△潮州丸 十月廿一日
○南浦、關門、神戶、大阪行 漳州丸 月 日 後二時出
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 十月十五日 後二時出
×信濃川丸 十一月二日
○大連直行 福州丸 十月三日 正午出帆
△潮州丸 十月十五日
○鎮南浦行 天智丸 月 日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) 城津、西湖津に寄港 清津、浦潮不寄港
▲平安丸 十月六日 後二時出
▲宮島丸 十月十二日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿六日 後四時出
北丸 十月十五日 前六時出
御注意 ◎朝鮮線及び南滿洲線と本社航路との連絡切符發賣仕候 [illegible]
大阪商船會社仁川支店 電話 [illegible]
京城切符發賣所 内國通運 [illegible]

尼崎汽船仁川出帆
○君が代丸 十月三日後四時 大阪直行
○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 十月七日後四時出帆
○神代丸 十月十三日後四時出帆
○秀吉丸 十月十八日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部